

コモ・スペース 組立説明書

このたびは、「コモ・スペース」をお買い上げくださり誠にありがとうございました。
 私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。
 どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
 この製品の組み立てについてご説明いたしますので、必ずお読みください。
 部品箱内の基礎図、組立説明書のアンカー工事については標準的施工方法とします。
 異なる施工を行う場合は、予め当社にご相談ください。
 なお、ご使用にあたっての注意については、取扱説明書・製品保証書をお読みください。



写真はSS3-7542JPA

組み立てにあたっての注意事項

●設置場所

1. 崖の縁や屋上など、安全の確認の出来ない場所への設置は避けてください。
2. 非常時の避難通路となるような場所には設置しないでください。
3. 家からの雪が直接屋根に落ちてくる場所への設置は避けてください。
4. 家の屋根からまとまった雨水が直接屋根や壁に落ちないように配慮してください。

●組み立て

コモ・スペースは作業する床面の高さが2m以上(高所作業)の箇所が含まれています。関係法規に従い、安全に作業を進めるよう、次の事項を必ずお守りください。

1. アンカー工事を必ずおこなってください。
2. 高所作業では必ず安全な作業床を設け、転落防止のため安全帯を使用してください。
3. 強風時などの天候の悪い日の組み立ては避けてください。
4. 30kg以上の梱包や部材の運搬・組立は、2人以上でおこなってください。
5. ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具や脚立等を使用し、安全確認の上作業してください。
6. 滑りやすい履物を使用しないでください。
7. テクスネジで取り付ける際には、裏側に電気配線等の障害物がない事をご確認ください。
8. 作業中に出る切粉は、錆の原因となりますので必ず除去してください。
9. 作業場の整理整頓、作業者相互の安全確認を十分におこなってください。
10. 組立中は部材の転倒防止のために、つかい棒やロープ等でしっかり固定してください。
11. 高所から物を落としたりしないよう十分に注意を払い、作業をおこなってください。
12. 暗い場所や夜間の作業を行う場合は、作業を安全に行うため必要十分な明るさを確保してください。
13. 組立途中で放置しないでください。もし、作業を中断する場合は「25.壁パネル・オプションの取付」の後にしてください。
14. 高トルクのインパクトドライバーをご使用の際は、ボルトの締めすぎにご注意ください。

組立順序のご説明

組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所またはネジ切り加工のない所はボルト締めには必要ありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかったり穴が合わない場合がありますので、この場合はネジをゆるめ調整してください。

基礎施工

水盛り・遣り方にしたがって根伐・砂利等で地固めをし、下図のように基礎を作ります。

※この説明書における基礎は標準施工図面です。強風地、軟弱な地盤、寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にして下さい。

※基礎の水平がとれていない場合は、戸当たりが悪くなったり、雨もり等の原因になることがあります。

※床下換気口は適切に配置してください。

※地面からの湿気上昇を防ぐ為、防湿シートを敷き込んでください。

※布基礎内部のブロック配置は、必ず基礎業者でおこなってください。

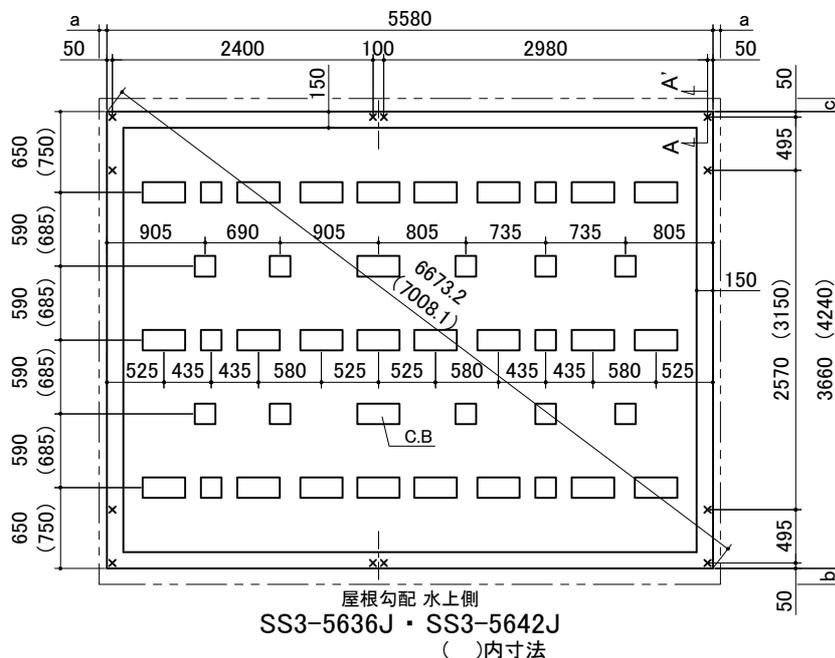
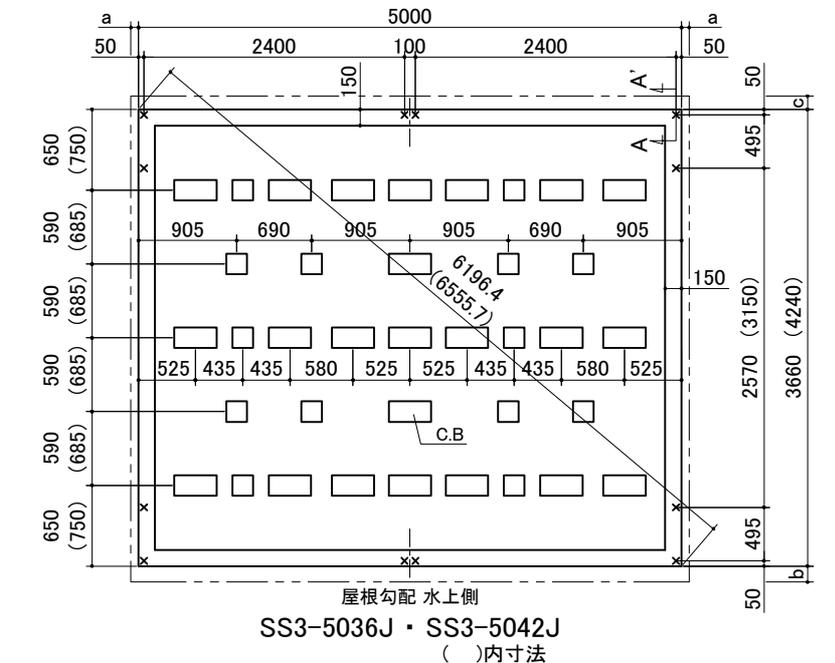
安全確保のため、転倒防止工事には十分注意してください。

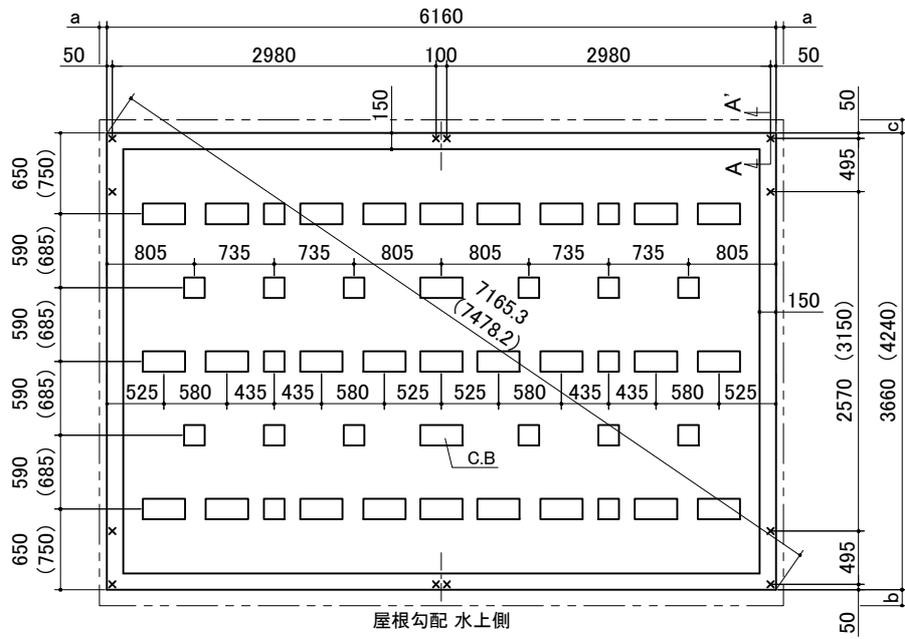
▲注意
アンカーボルトは布基礎芯ではありません。

[単位:mm]

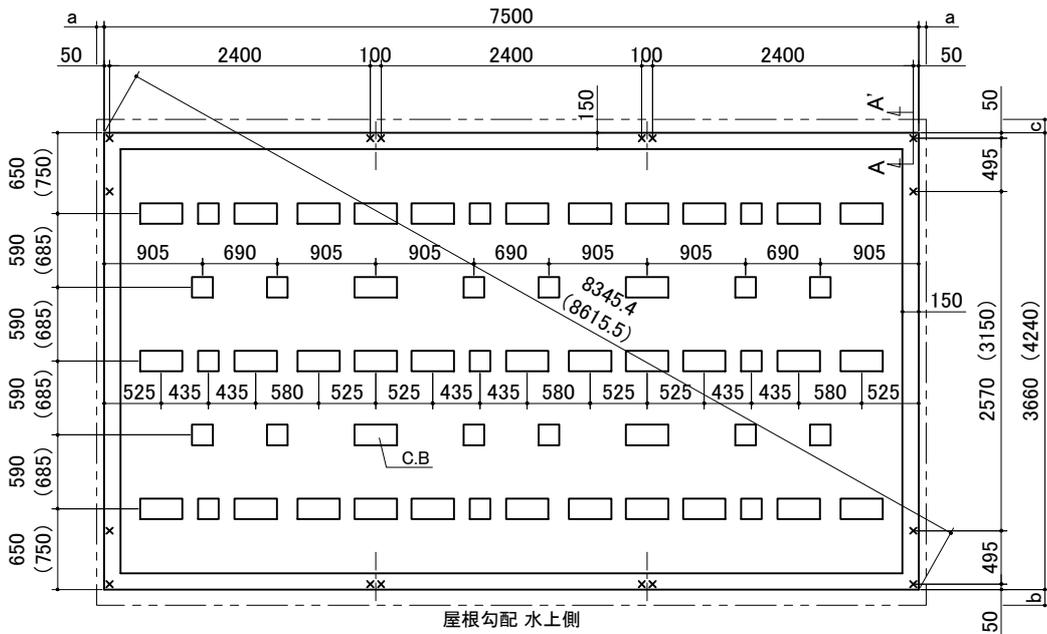
x …アンカーボルト位置を示す - - - - …屋根のラインを示す C.B…コンクリートブロックを示す a,b,c…屋根の出幅を示す(a=70,b=147,c=123)

詳細図面は当社ホームページの図面ダウンロードより入手してください。

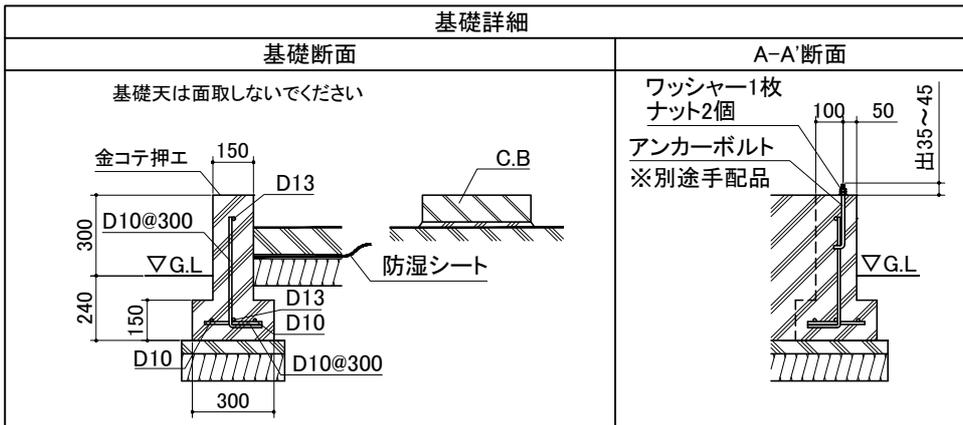




SS3-6136J・SS3-6142J
()内寸法



SS3-7536J・SS3-7542J
()内寸法



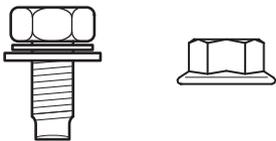
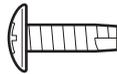
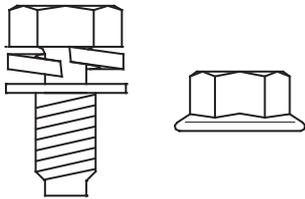
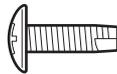
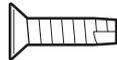
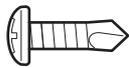
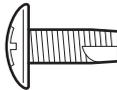
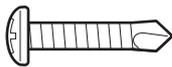
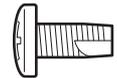
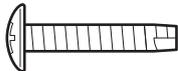
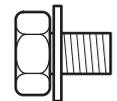
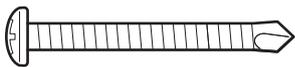
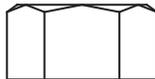
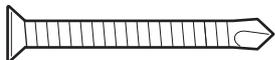
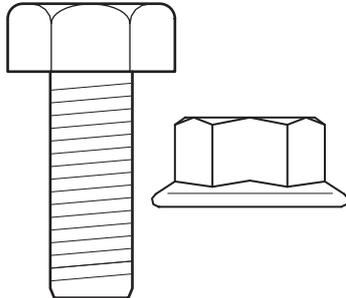
※アンカーボルトのサイズについて
 ・M12×240～300
 又は
 ・W1/2×240～300
 W1/2を使用する場合はボルト1本につきワッシャー1枚とナット2個もご用意ください。

ネジの種類に注意!

コモ・スペースの組み立てには、多種のネジを使用します。間違えて取り付ける事がないように、組み立ての際には指定されたネジの形状・大きさ・取付場所を一覧表で確認の上、作業してください。

※表中には、代表的なネジを載せてあります。下記以外のネジは、それぞれのオプションの組立説明書を参考に取付けてください。

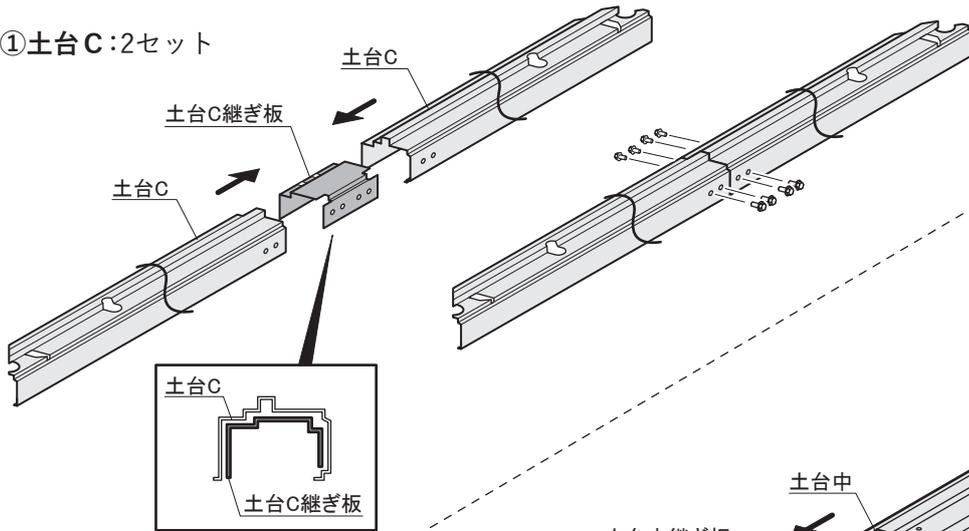
使用ネジ一覧表【ネジの図は、実物どおりの大きさと載せてあります。】

形状	取付場所	形状	取付場所
歯付M6ボルト(ZECコート) M6フランジナット(ZECコート) 	本体組立 (組立説明書内では 歯付M6ボルトは M6ボルトと表記 しています。)	トラストッピンネジφ4×12 (ステンレス) 	掃き出し入口枠上 掃き出し入口枠左右
M8ボルト(ZECコート) M8フランジナット(ZECコート) 		トラストッピンネジM4×12 (ステンレス) 	ドア入り口枠上 ドア入り口枠左右
		皿タッピンネジφ4×14 (ステンレス) 	入隅
テクスネジφ4×13(有色クロメート) 	床固定金具 たてといベース	トラストッピンネジM5×12 (有色クロメート) 	野縁 野縁受け
テクスネジφ4×19 (ステンレス) 	梁中カバー 巾木 (ジョイントカバー部) ガラス窓の額縁 (下の中間部)	バインドタッピンネジM5×10 (有色クロメート) 	軒といブラケット
トラストッピンネジφ4×20 (ステンレス) 	ガラス窓の額縁 (上:全部 下:両端のみ)	M6×8ボルト(ステンレス) 	たてとい ブラケット
テクスネジφ4×35 (ステンレス) 	巾木 (内壁のセンター部)	M12ナット(ZECコート) 	アンカー固定
皿テクスネジφ4×35 (ステンレス) 	土台中カバー ドア入口枠下 掃き出し入口枠下	M12ボルト(ZECコート) M12フランジナット(ZECコート) 	ブレース
トラストッピンネジM4×8 (ステンレス) 	エアコン 取付支柱		

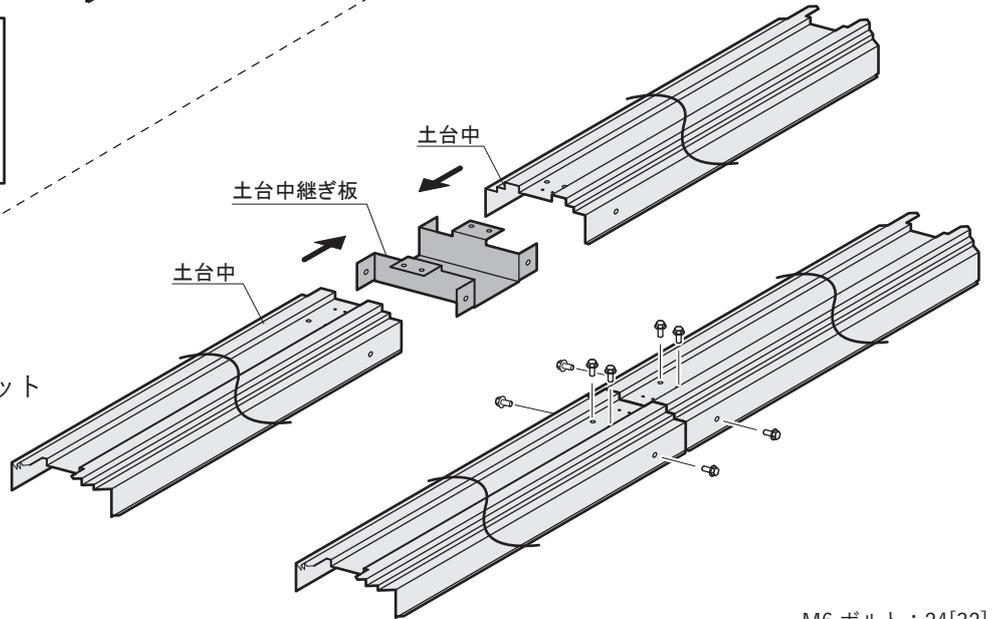
土台C・土台中の前工程(□□42Jのみ)

- ①土台Cを土台C継ぎ板にM6ボルトで取り付け、連結させます。
- ②土台中を土台中継ぎ板にM6ボルトで取り付け、連結させます。

①土台C:2セット



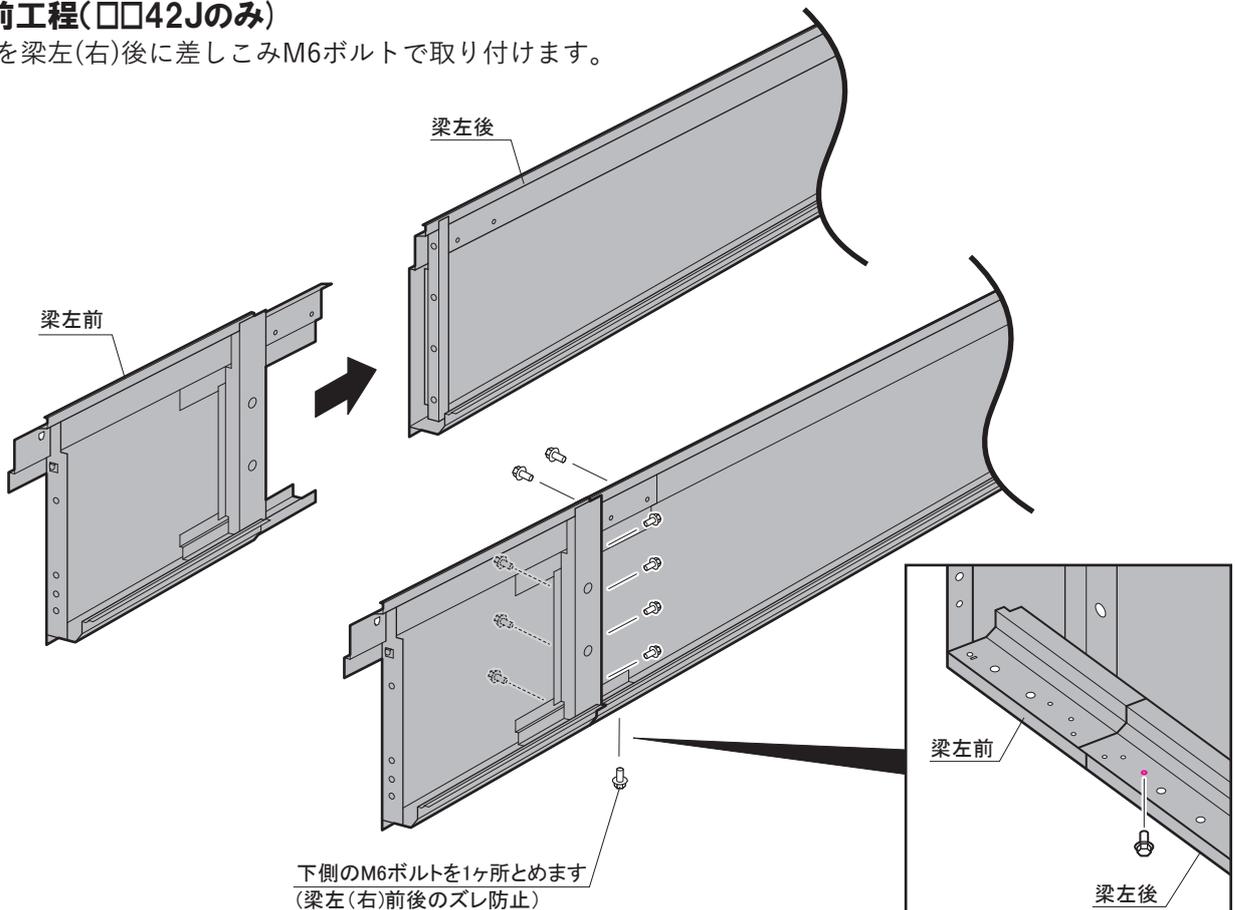
②土台中:1[2]セット



M6 ボルト : 24[32] 本

梁左右の前工程(□□42Jのみ)

梁左(右)前を梁左(右)後に差しこみM6ボルトで取り付けます。



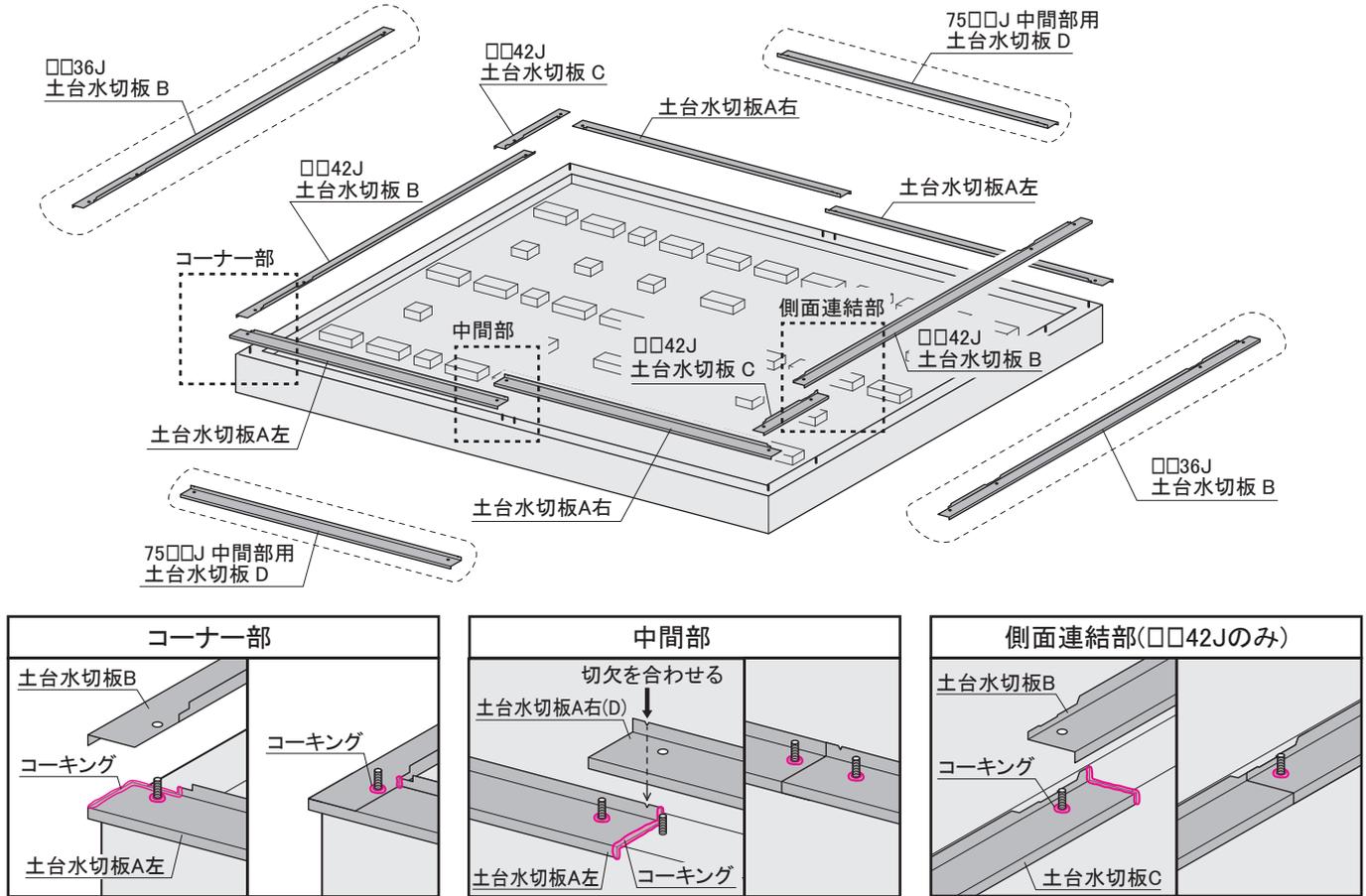
下側のM6ボルトを1ヶ所とめます
(梁左(右)前後のズレ防止)
壁パネル取付時にはずします。

M6 ボルト : 20 本

1. 土台水切板の取付

土台水切板を並べて、つなぎ目をコーキングします。

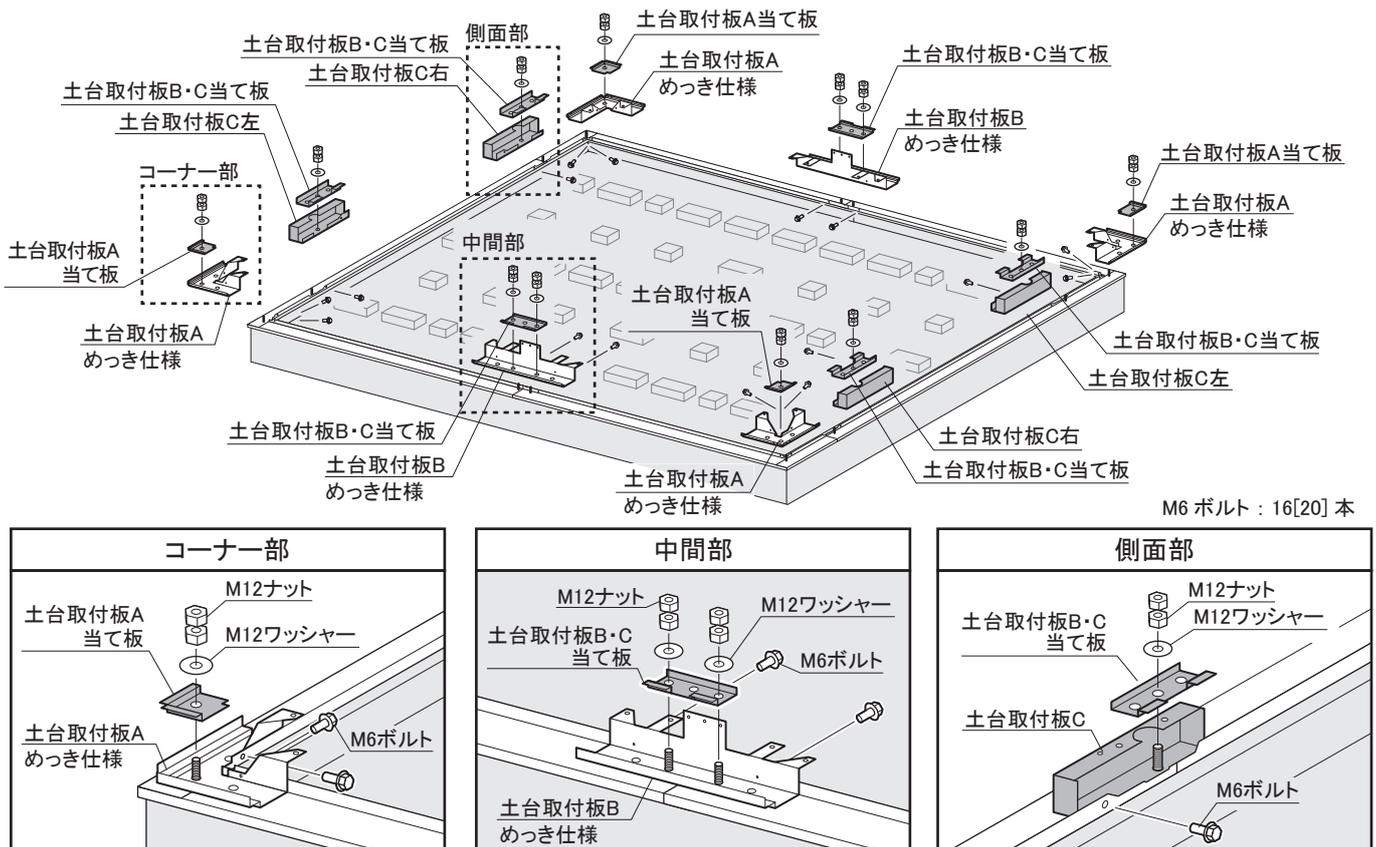
※内部に雨水が浸入する恐れがありますので必ずコーキングをしてください。



2. 土台取付板の取付

①布基礎から出ているアンカーボルトに合わせ、土台取付板A、B、C右、C左を設置し土台取付板当て板、ワッシャー、ダブルナットで仮締めします。

②土台取付板と土台水切板をM6ボルトで取り付けます。



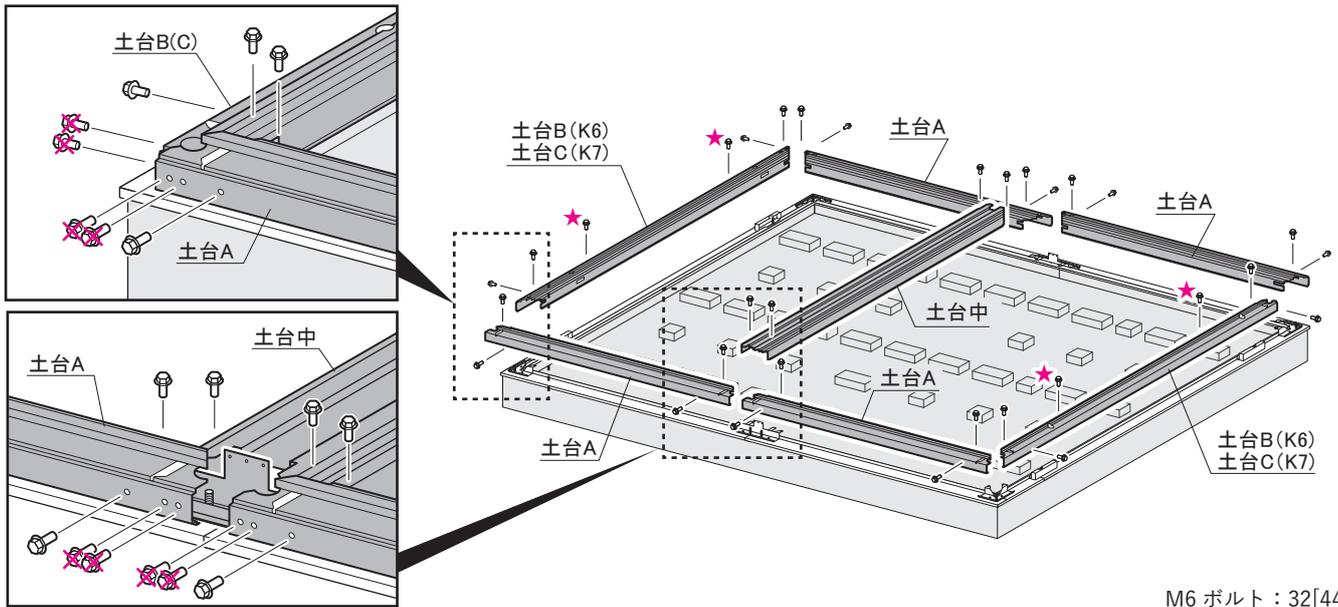
M6 ボルト : 16[20] 本

3. 土台の取付

土台を土台取付板にかぶせ、M6ボルトで仮締めします。土台の直角と対角を出してから本締めしてください。

★印のついたM6ボルトは「4. アンカーボルト本締め」でアンカーボルトを本締め後にはずしてください。(壁の取り付けができなくなります。)

※詳細図の×印の位置にはボルトをとめないでください。(柱の取り付けができなくなります。)



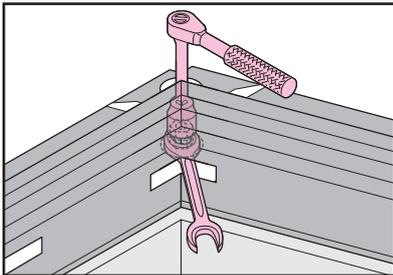
M6 ボルト：32[44] 本

4. アンカーボルト本締め

①仮締めしてあったアンカーボルトを本締めします。(下図○印の位置)

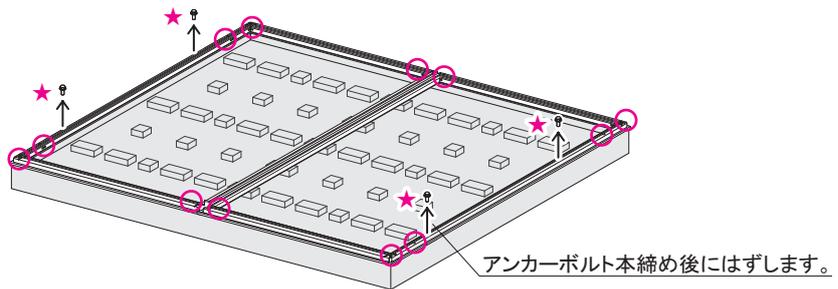
②★印のついたM6ボルトをはずしてください。

※アンカーボルトはダブルナット(ナット2つ)によるゆるみ止めを確実にこなってください。



ダブルナット締め付け例

ナット2つを締め付けた後、必ず上側のナットを押えながら下側のナットを左回りに締め付けてください。



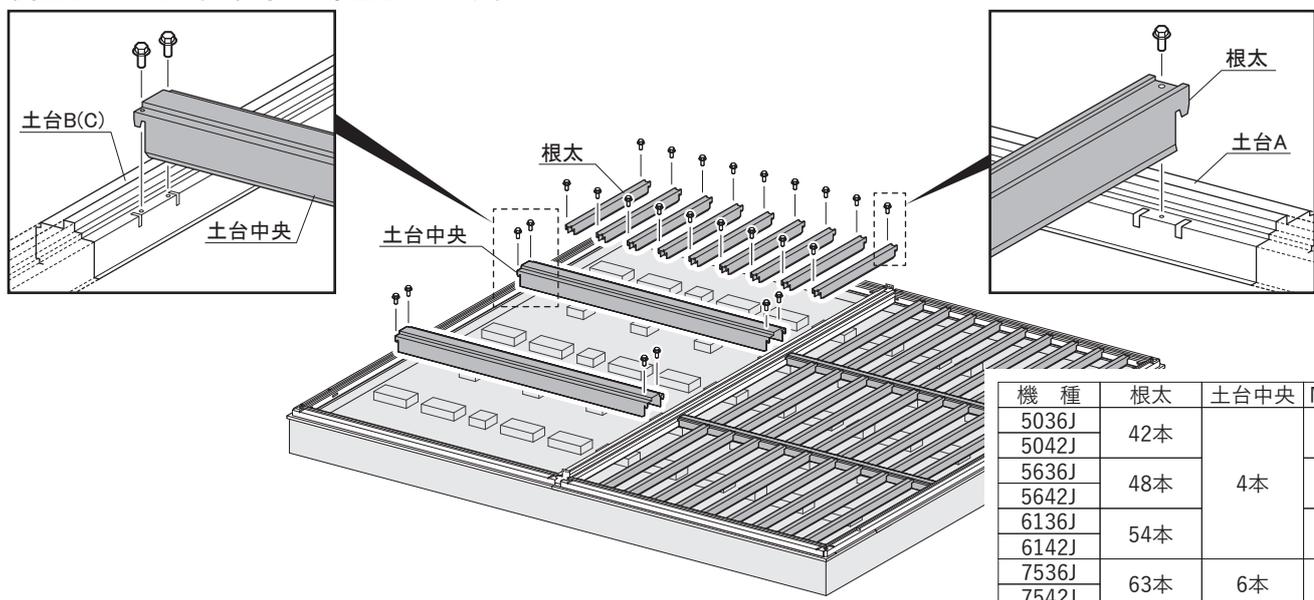
アンカーボルト本締め後にはずします。

5. 土台中央・根太の取付

①土台中央を土台中と土台B(C)に渡し、M6ボルトで取り付けます。

②根太を土台の角穴に入れ、M6ボルトで取り付けます。

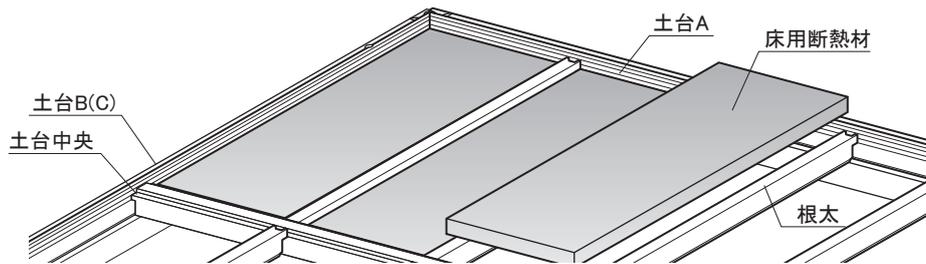
※基礎部と土台、根太とブロックの間に隙間がないことを確認してください。隙間がある場合はスペーサーやゴムシート等で調整してください。(床鳴りの原因となります。)



機種	根太	土台中央	M6ボルト
5036J	42本		100本
5042J			
5636J	48本	4本	112本
5642J			
6136J	54本		124本
6142J			
7536J	63本	6本	150本
7542J			

6. 床用断熱材の取付

床用断熱材を土台B(C)から片追いで敷き詰めてください。



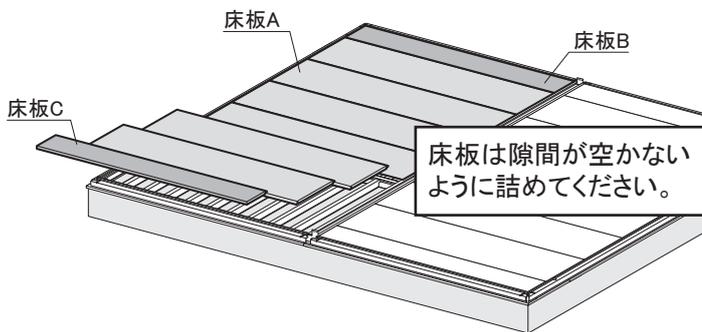
機種	床用断熱材
5036J	48枚
5042J	
5636J	54枚
5642J	
6136J	60枚
6142J	
7536J	72枚
7542J	

7. 床板・土台中カバーの取付

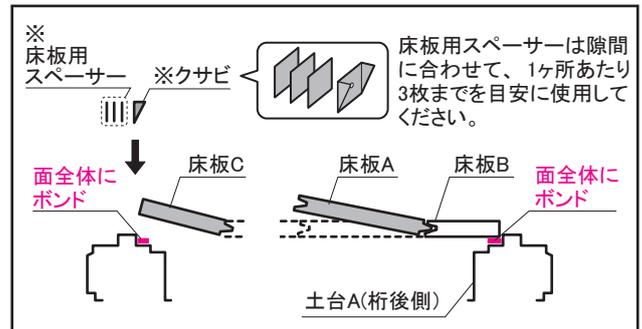
①土台Aにボンドを塗り、床板Bを床固定金具とテクスネジφ4×13で土台B(C)・土台中・根太に固定します。
床固定金具は土台B(C)から根太1本おきに使用してください。

②床板A、床板Cの順に同じ要領で敷き込みます。

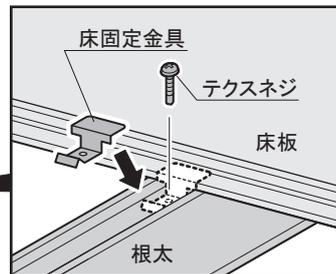
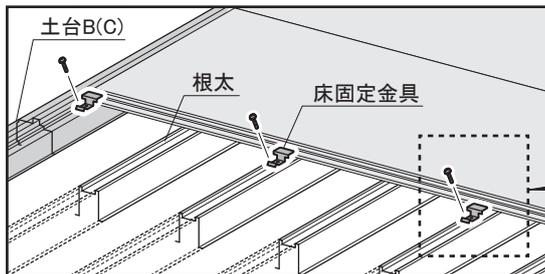
※床板を敷き込んで隙間が空く場合は、クサビ(3枚)を打ち込んでください。それでも隙間が空く場合は床板用スペーサーを追加してください。



<ボンドの塗布位置・クサビについて>



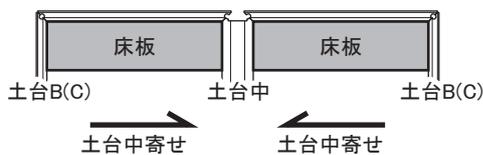
<床固定金具の取付方法>



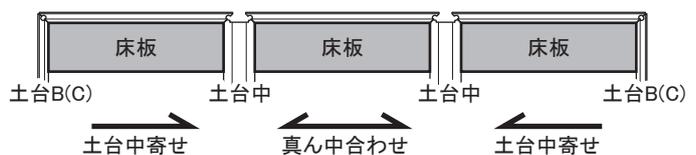
機種	床固定金具	テクスネジφ4×13
5036J	60個	60本
5042J	70個	70本
5636J	66個	66本
5642J	77個	77本
6136J	72個	72本
6142J	84個	84本
7536J	90個	90本
7542J	105個	105本

<床板の位置合わせ>

■50□□J/56□□J/61□□J



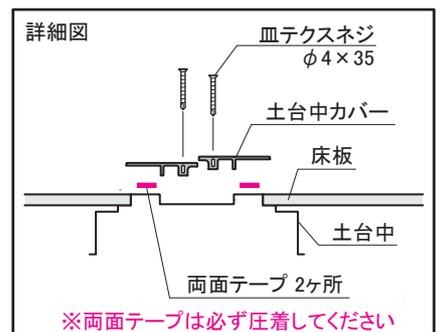
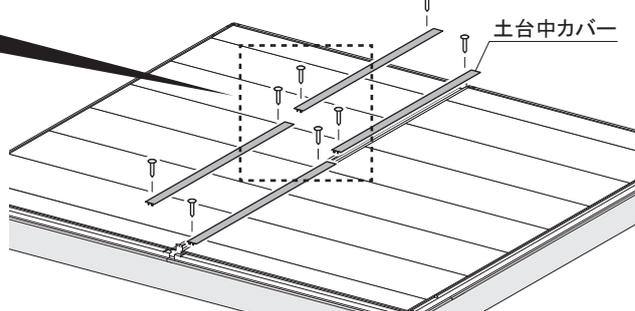
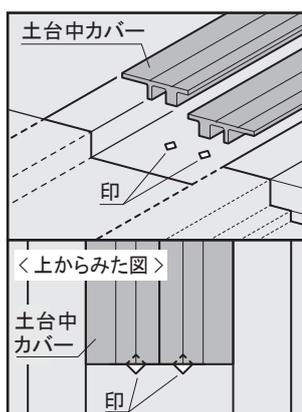
■75□□J



③土台中カバーを土台中の印の頂点に合わせて、両面テープと皿テクスネジφ4×35で取り付けます。

※両面テープは詳細図の位置に全長に渡って貼り付けてください。

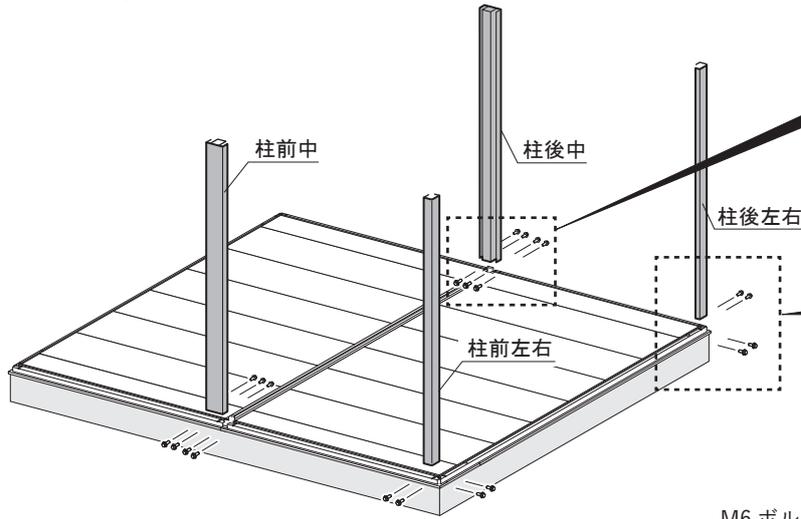
※オプションのタイルカーペットを敷く場合は取付不要です。



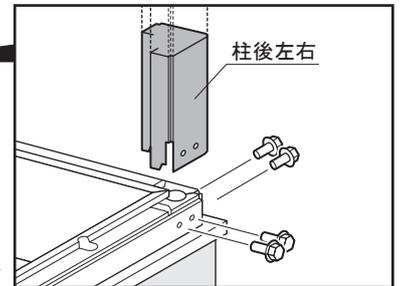
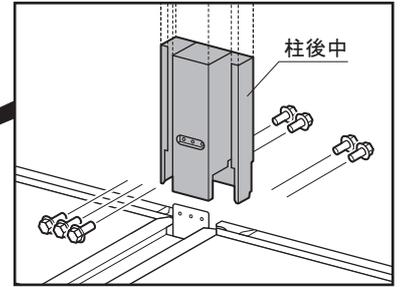
機種	皿テクスネジφ4×35
5036J/5636J/6136J	8本
5042J/5642J/6142J	
7536J	16本
7542J	

8. 柱前後左右・柱前後中の取付

柱前後左右、柱前後中を土台に取り付けます。
※柱前側が水上側となります。

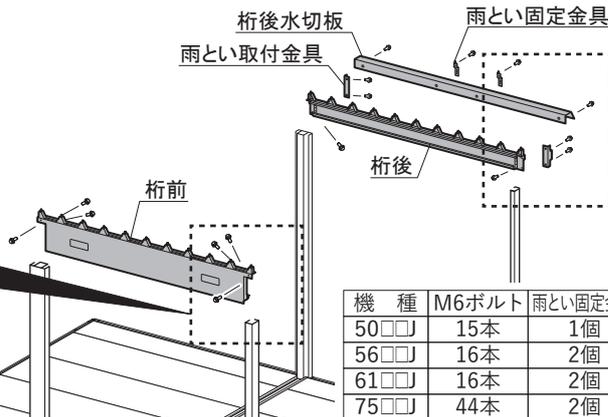
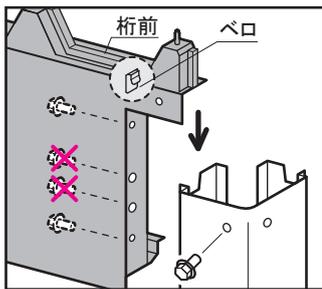


M6 ボルト : 22 本

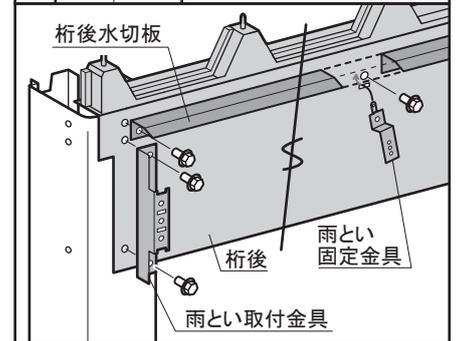
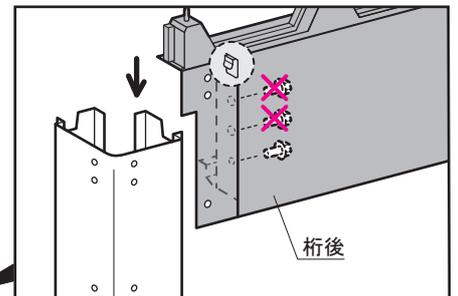


9. 桁前後・桁後水切板・雨とい取付金具・雨とい固定金具の取付

- ①桁前のペロを柱に引っ掛けM6ボルトで取り付けます。
 - ②桁後のペロを柱に引っ掛け、桁後水切板と雨とい固定金具、雨とい取付金具をM6ボルトで共締めします。
- ※M8ボルトはとめないでください。
※75□□Jの場合は「8」、「9」と同様の手順で中間棟の柱前後中、桁前後、桁後水切板を取り付けます。

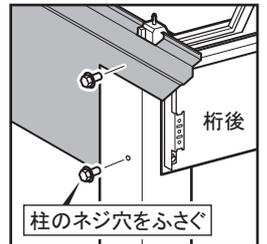
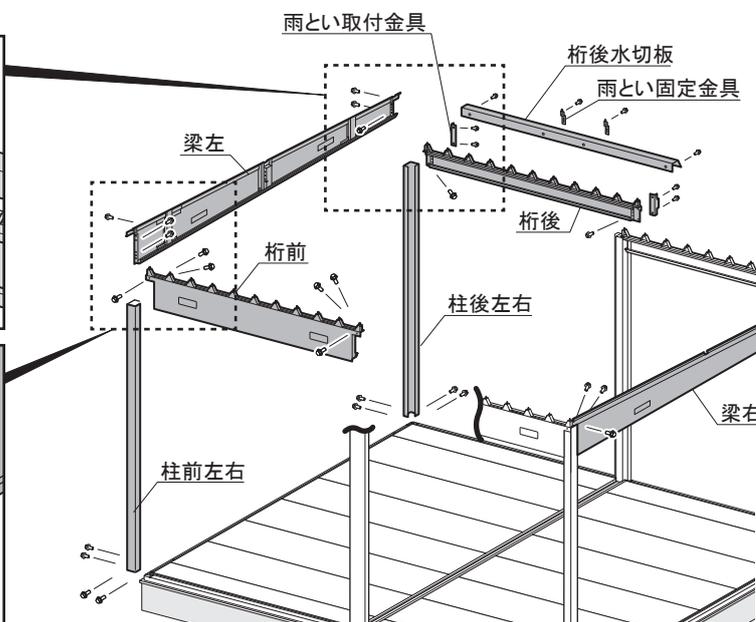
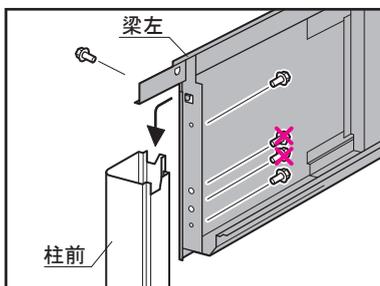
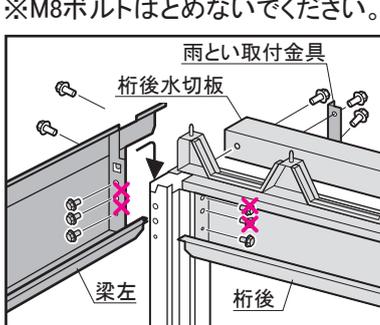


機種	M6ボルト	雨とい固定金具
50□□J	15本	1個
56□□J	16本	2個
61□□J	16本	2個
75□□J	44本	2個



10. 柱前後左右・桁前後・梁左右・雨とい取付金具・雨とい固定金具の取付

- ①梁右のペロを桁と同じ要領で柱に引っ掛けM6ボルトで取り付けます。
 - ②「8」、「9」と同様の手順で柱前後左右と桁前後、桁後水切板を取り付け後、梁左をM6ボルトで取り付けます。
- ※M8ボルトはとめないでください。

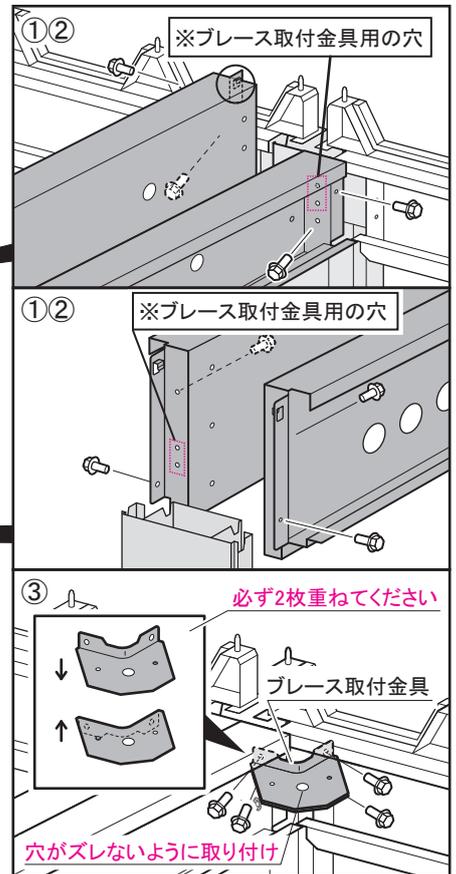
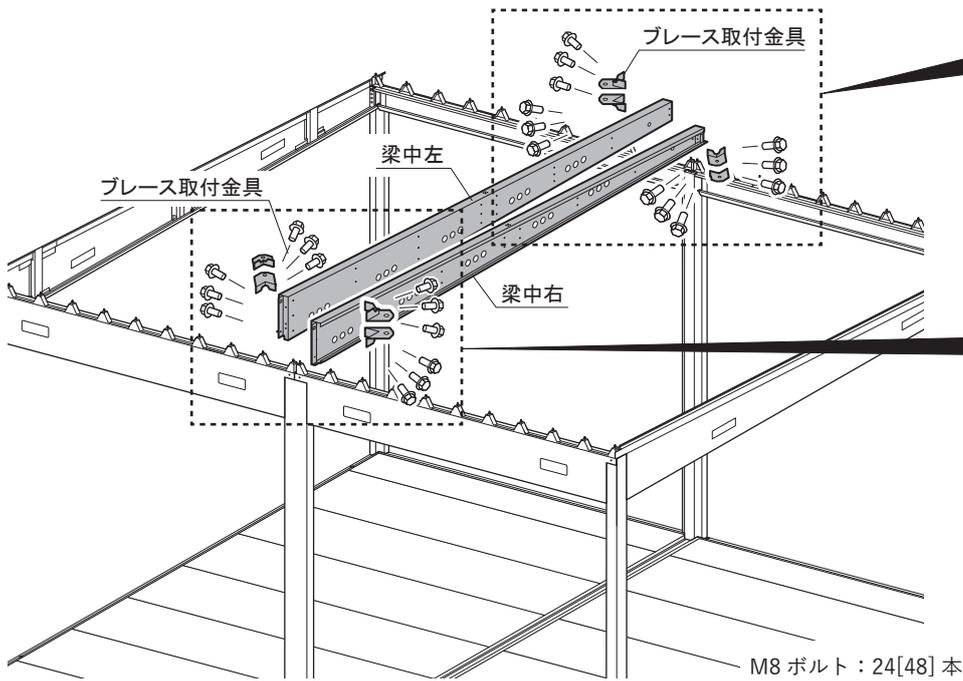


機種	M6ボルト	雨とい固定金具
50□□J	35本	1個
56□□J	35本	1個
61□□J	36本	2個
75□□J	35本	1個

11. 梁中の取付 (75□□Jは2ヶ所取り付けます)

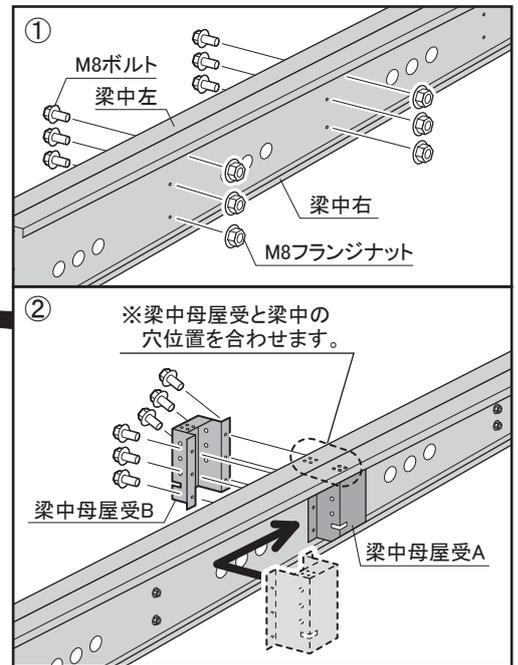
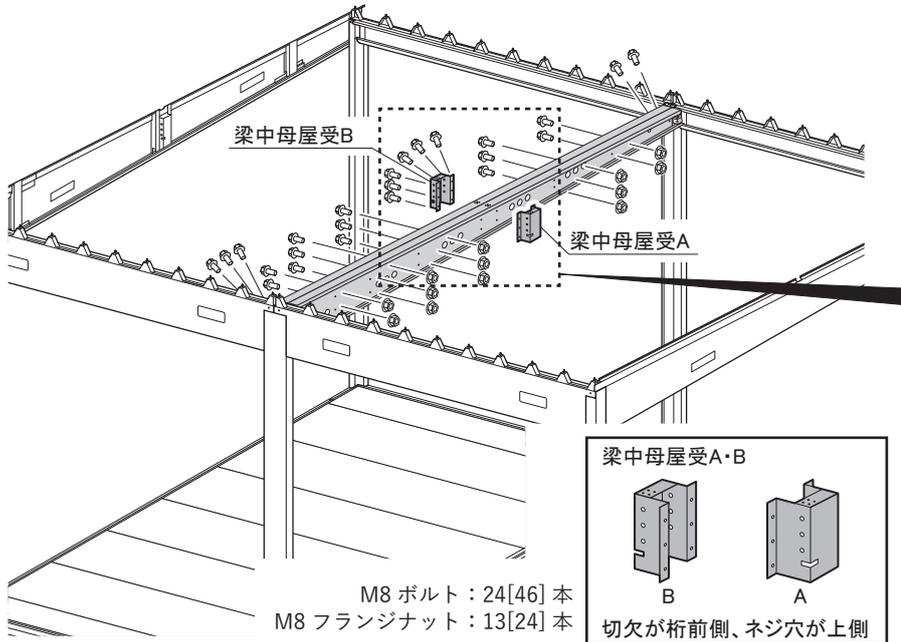
11-1

- ① 梁中右のペロを柱前中、柱後中に引っかけ、M8ボルトで仮締めします。
- ② 梁中左も①と同様の手順で仮締めします。
- ③ ブレース取付金具を2枚重ねて梁中と柱にM8ボルトで仮締めします。



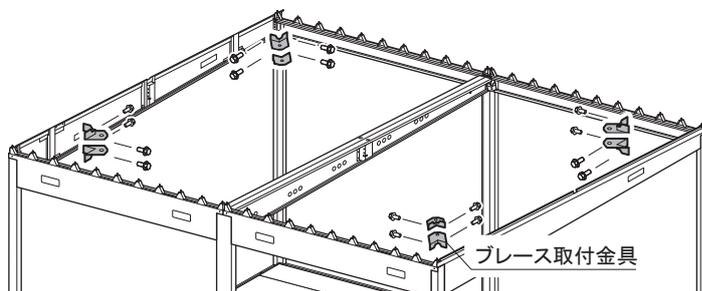
11-2

- ① 梁中右と梁中左をM8ボルトとM8フランジナットで取り付けます。11-1①②で仮締めしたM8ボルトを本締めします。(11-1③のブレース取付金具はブレース取付後に本締めします。)
- ② 梁中の中間部に梁中母屋受A・BをM8ボルトで取り付けます。



12. ブレース取付金具の取付

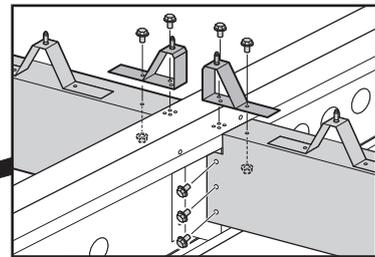
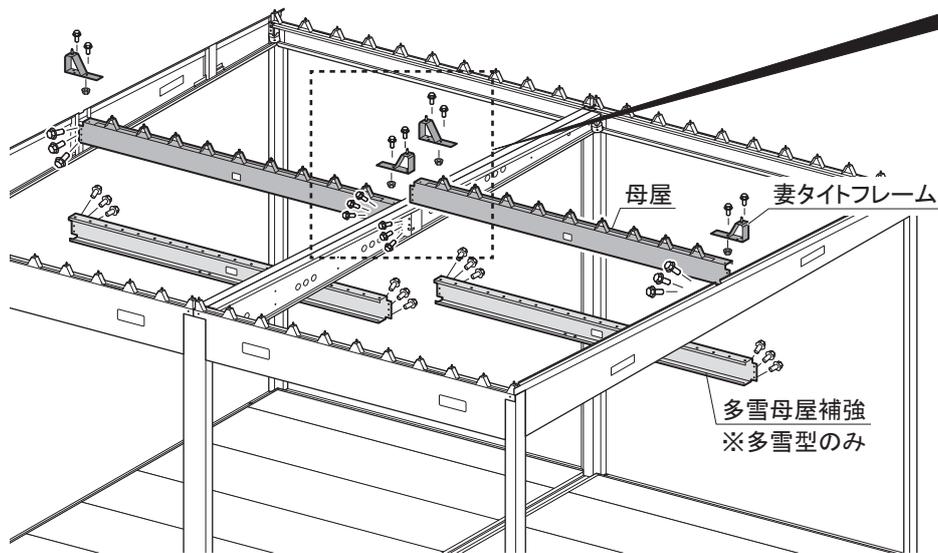
ブレース取付金具を11-1③と同様に2枚重ねて梁左右と柱にM8ボルトで仮締めします。



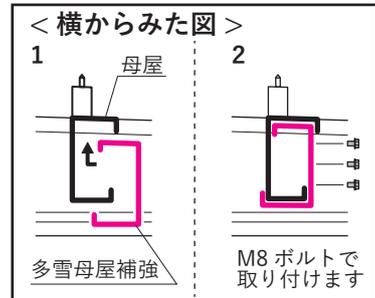
M8 ボルト : 16 本

13.母屋の取付

- ①母屋を母屋受にM8ボルトで取り付けます。
- ②母屋の両端に妻タイトフレームをM6ボルトとM6フランジナットで取り付けます。
(梁左右・梁中とはM6ボルトで取り付けます。)
- ③多雪型の場合は、多雪母屋補強を母屋受にM8ボルトで取り付けます。



※多雪母屋補強取付方法



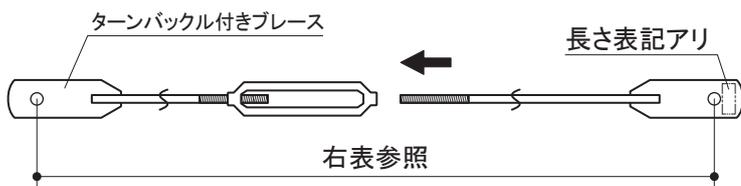
M8ボルト(一般) : 12[18] 本
 M8ボルト(多雪) : 24[36] 本
 M6ボルト : 8[12] 本
 M6フランジナット : 4[6] 本

14.ブレースの取付

※ブレースを取り付ける前に本体の建ちを確認してください。

14-1

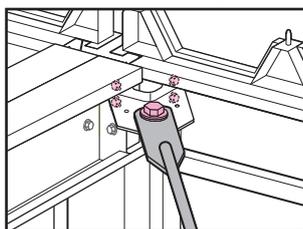
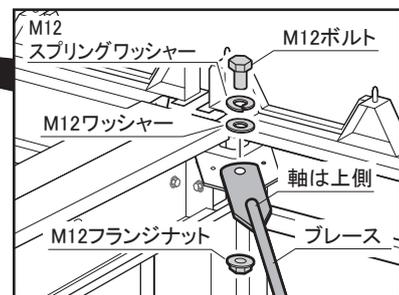
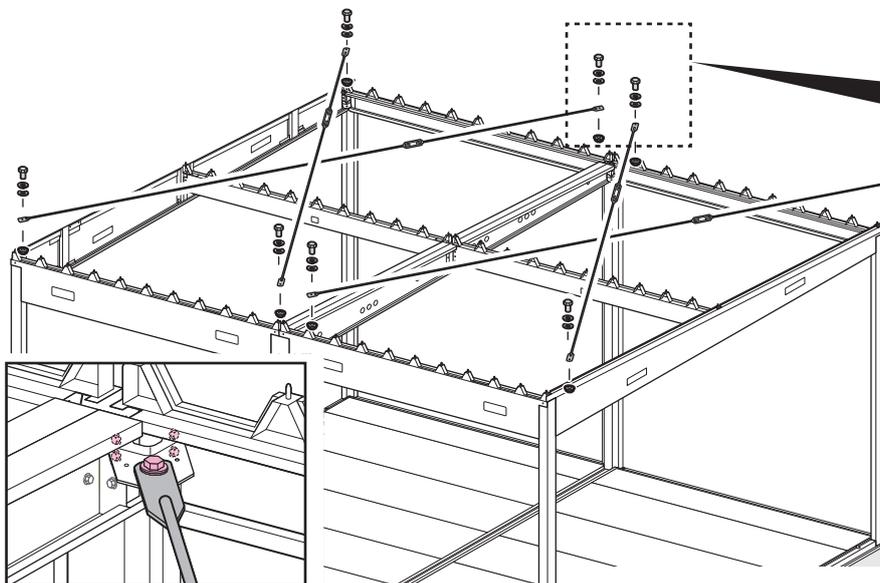
ターンバックル付きブレースにブレースを取り付け、ブレースの長さを調整します。※羽子板に長さの表記があります。



機種	長さ	本数	機種	長さ	本数
5036J	4122mm	4本	5042J	4617mm	4本
5636J	4122mm	2本	5642J	4617mm	2本
	4469mm	2本		4929mm	2本
6136J	4469mm	4本	6142J	4929mm	4本
7536J	4122mm	6本	7542J	4617mm	6本

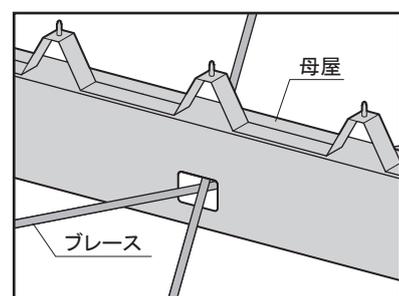
14-2

- ①ブレースを母屋の中央にあいている穴へ通し、ブレース取付板にM12×30ボルト、スプリングワッシャー、ワッシャーとフランジナットで仮締めします。
 - ②ブレースを少しずつ締め、たるみが無くなるようにします。(張りが均等になるようにしてください。)
 - ③仮締めしてあるM8ボルト、M12ボルトを本締めします。
- ※ブレースを取り付ける際はすべてのブレースの軸部分が屋根側になるようにしてください。(詳細図参照)
 ※ブレースは締め付けすぎないように注意してください。(締め付けすぎると本体が傾き、元に戻らなくなる可能性があります。)



※ブレースを締め付け後、
 ・ブレース取付板(M8ボルト)
 ・ブレース羽子板(M12ボルト)
 を忘れずに本締めしてください。

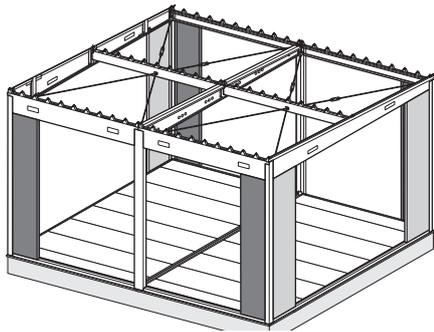
M12×30 ボルト : 8[12] 本
 M12 スプリングワッシャー : 8[12] 本
 M12 ワッシャー : 8[12] 本
 M12 フランジナット : 8[12] 本



母屋の穴にブレースを通してください。

15.壁パネルの取付

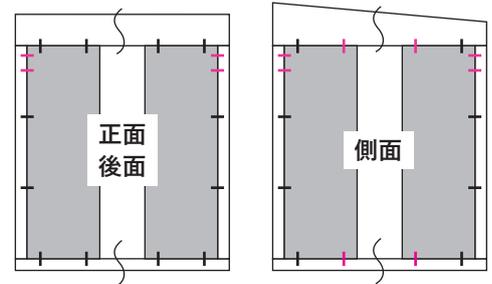
4隅に壁パネルを取り付けます。
 ※M6ボルトのみで取り付ける部分があります。
 ※下図の■位置に開口部、ガラス窓等が付く場合は取り付け不要です。



M6 ボルト : 64 本
 ネジ板 : 40 枚



<M6ボルトとめ位置>

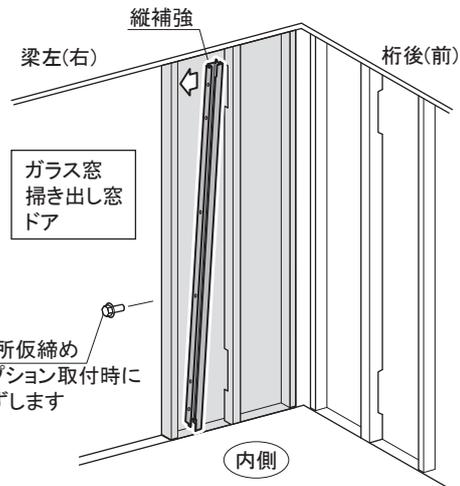
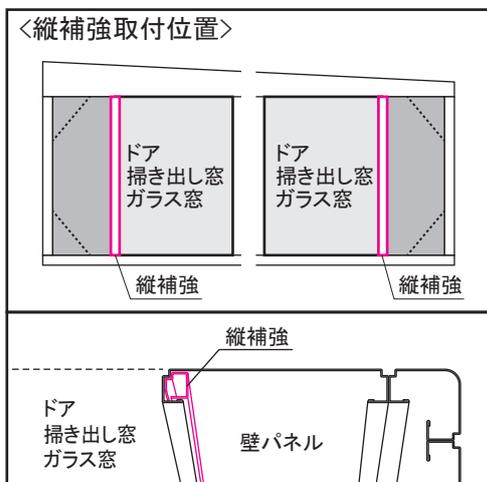


■ : M6 ボルト + ネジ板
 ■ : M6 ボルトのみ

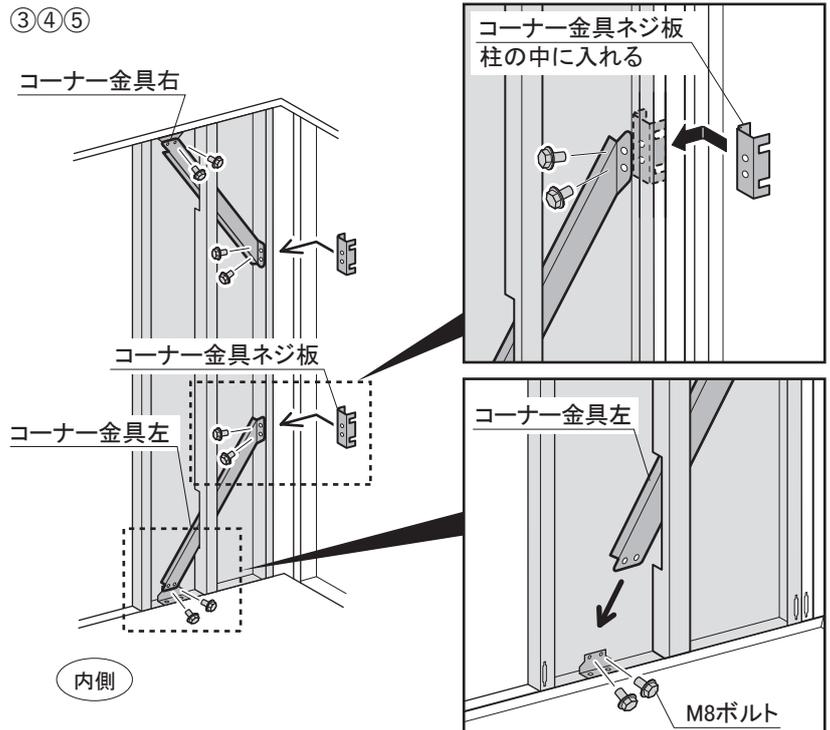
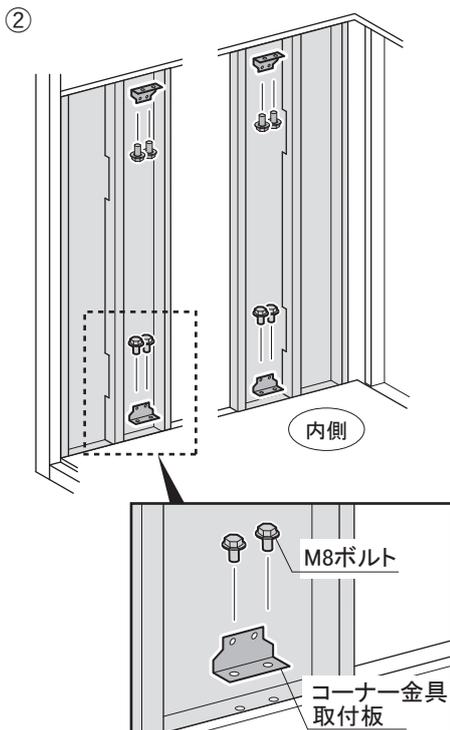
16.コーナー金具の取付

①側面■の壁パネル隣にドア、掃き出し窓、ガラス窓が取り付けられる場合はコーナー金具を取り付ける前に縦補強を仮締めします。

※コーナー金具が先に付いていると縦補強が取り付けできなくなります。



- ②コーナー金具取付板を側面の柱寄りの壁パネルにM8ボルトで取り付けます。
- ③コーナー金具を壁パネルの補強の切欠に通し、コーナー金具取付板とM8ボルトで仮締めします。
- ④コーナー金具ネジ板を柱の中に入れて、コーナー金具とM8ボルトで取り付けます。
- ⑤コーナー金具とコーナー金具取付板のM8ボルトを本締めします。



M8 ボルト : 16 本

M8 ボルト : 32 本

17.屋根の取付

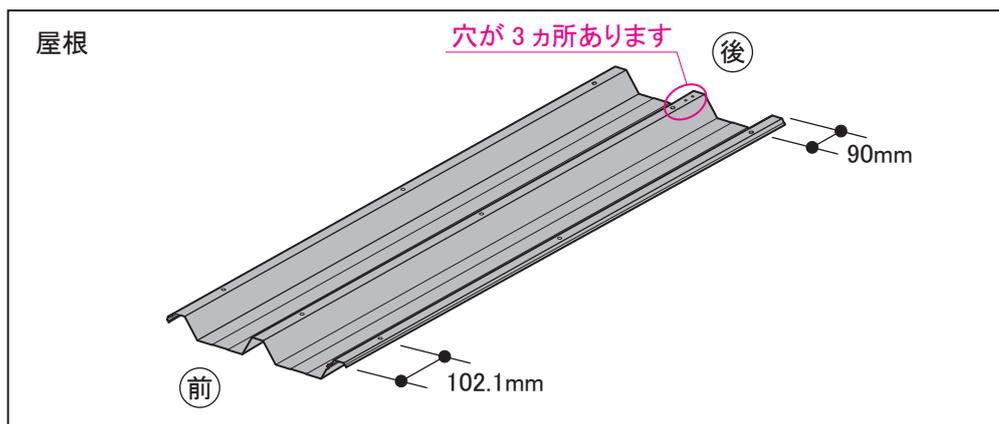
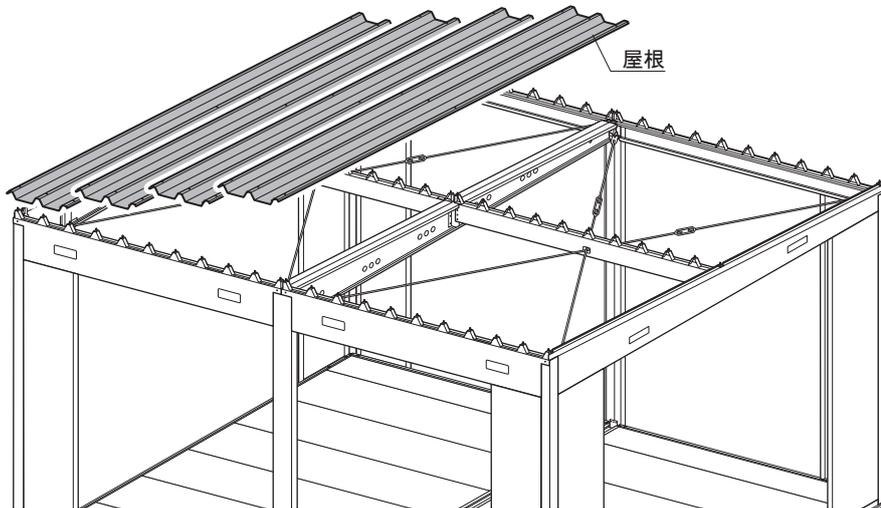


- 屋根材にはオス、メス部があるので必ず左から葺いてください。
- 結露軽減材は傷つき易いので、取り扱いには十分注意してください。

17-1

屋根を左より順に葺いていきます。

※屋根には前後があります。前後を間違えないように施工してください。

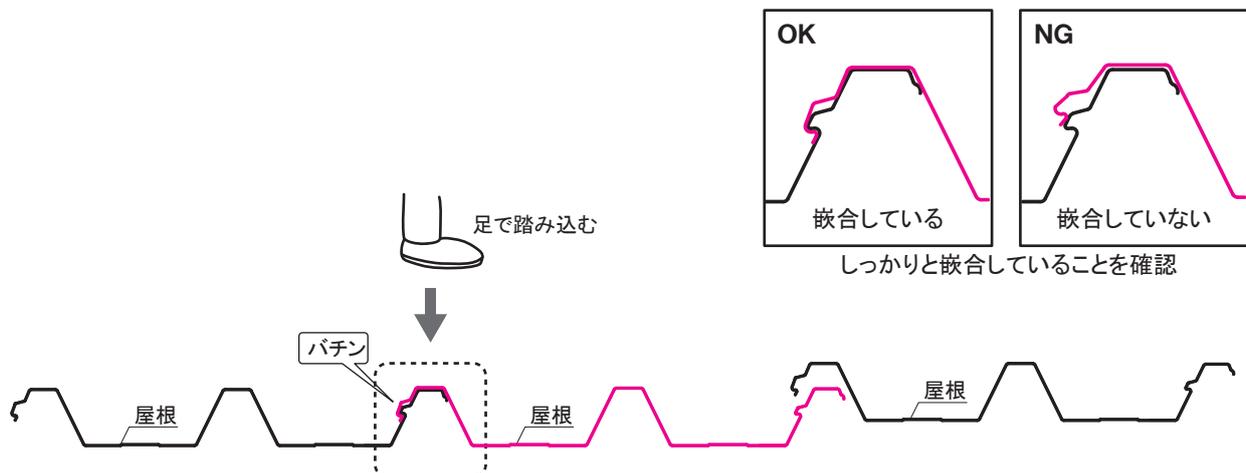


17-2

屋根を重ねた後、重ね部を上から踏んで嵌合させます。【下図参照】

※しっかりと嵌合していることを確認してください。

※剣先ボルトで結露軽減材を傷つけないように気をつけてください。

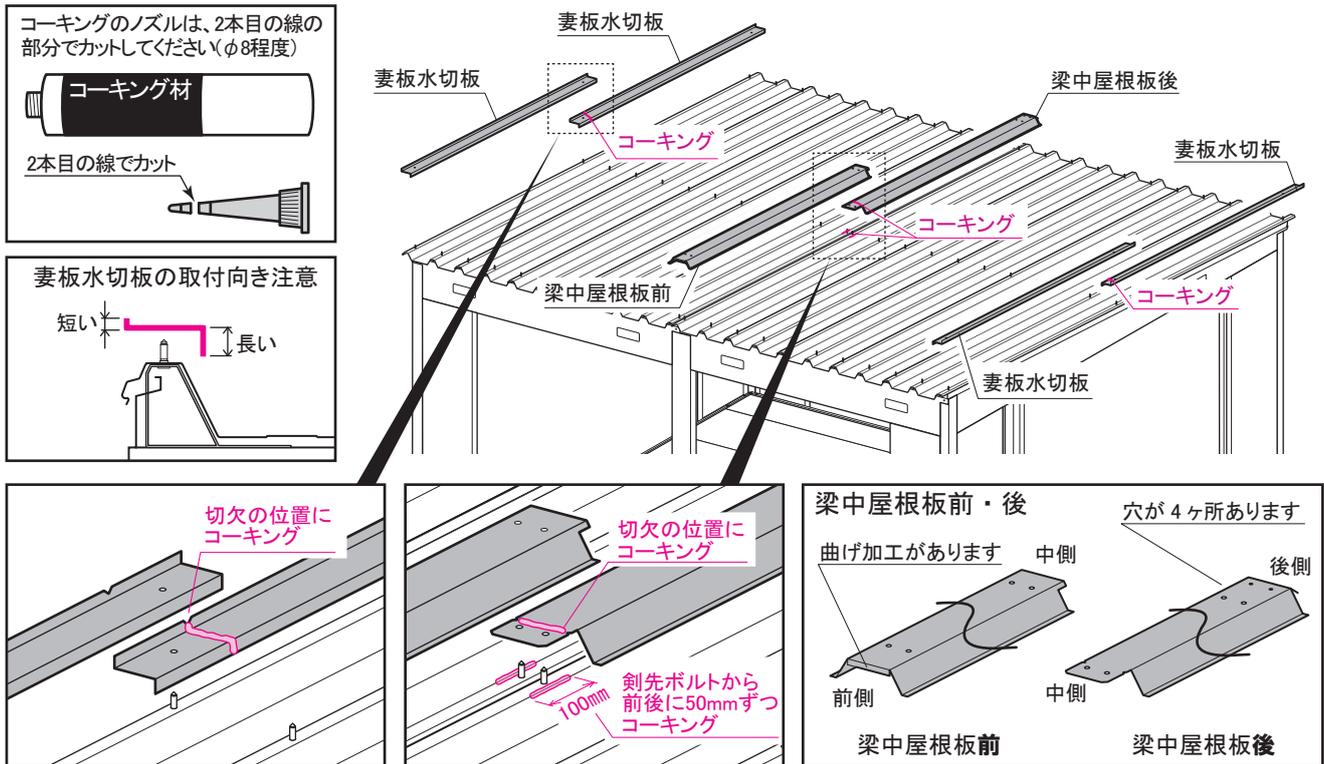


18.妻板水切・梁中屋根板の取付

<□□42Jの場合>

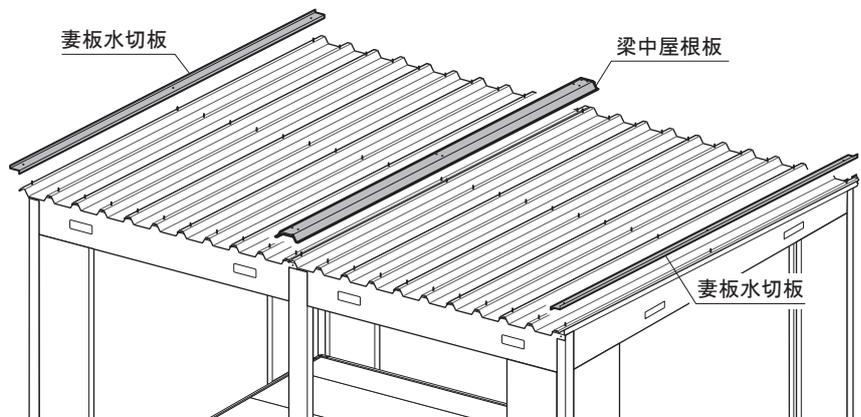
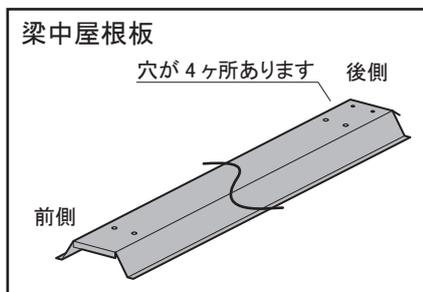
- ①妻板水切板を桁後側の屋根にかぶせ、つなぎ目をコーキングし、桁前側に妻板水切板をかぶせます。
- ②梁中部の屋根の中央にコーキングをし、梁中屋根板後を屋根にかぶせます。つなぎ目をコーキングし、梁中屋根板前を屋根にかぶせます。

※必ず梁中屋根板後から取り付けてください。雨漏りの原因となります。



<□□36Jの場合>

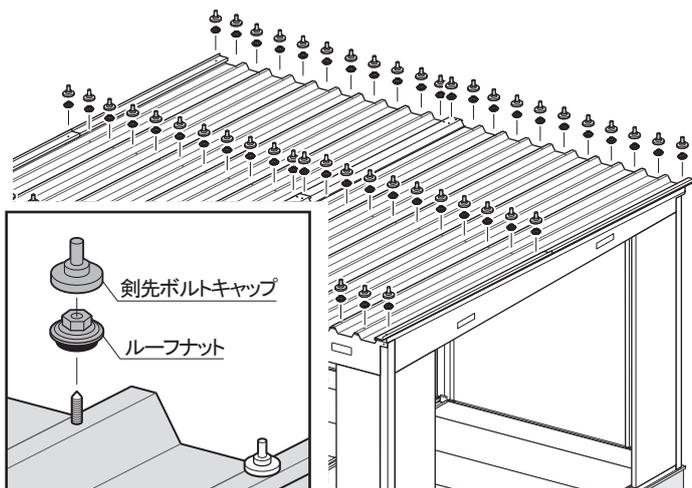
- ①妻板水切板を屋根にかぶせます。
 - ②梁中部に梁中屋根板をかぶせます。
- ※コーキングは不要です。



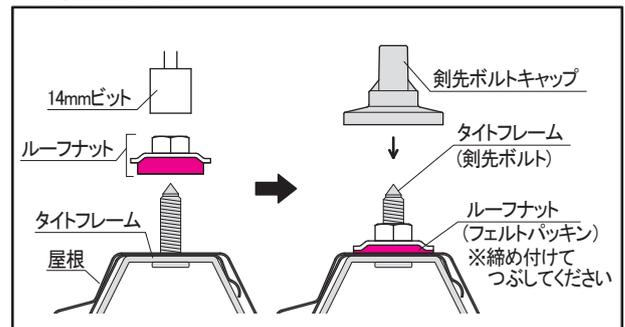
19.ルーフナット・剣先ボルトキャップの取付

全てのタイトフレーム(剣先ボルト)にルーフナットと剣先ボルトキャップを取り付けます。

※フェルトパッキンをしっかりつぶしてください。つぶしていない場合、雨漏りの原因になります。



<屋根固定方法>



	50□□J	56□□J	61□□J	75□□J
ルーフナット	54個	60個	66個	81個
剣先ボルトキャップ				

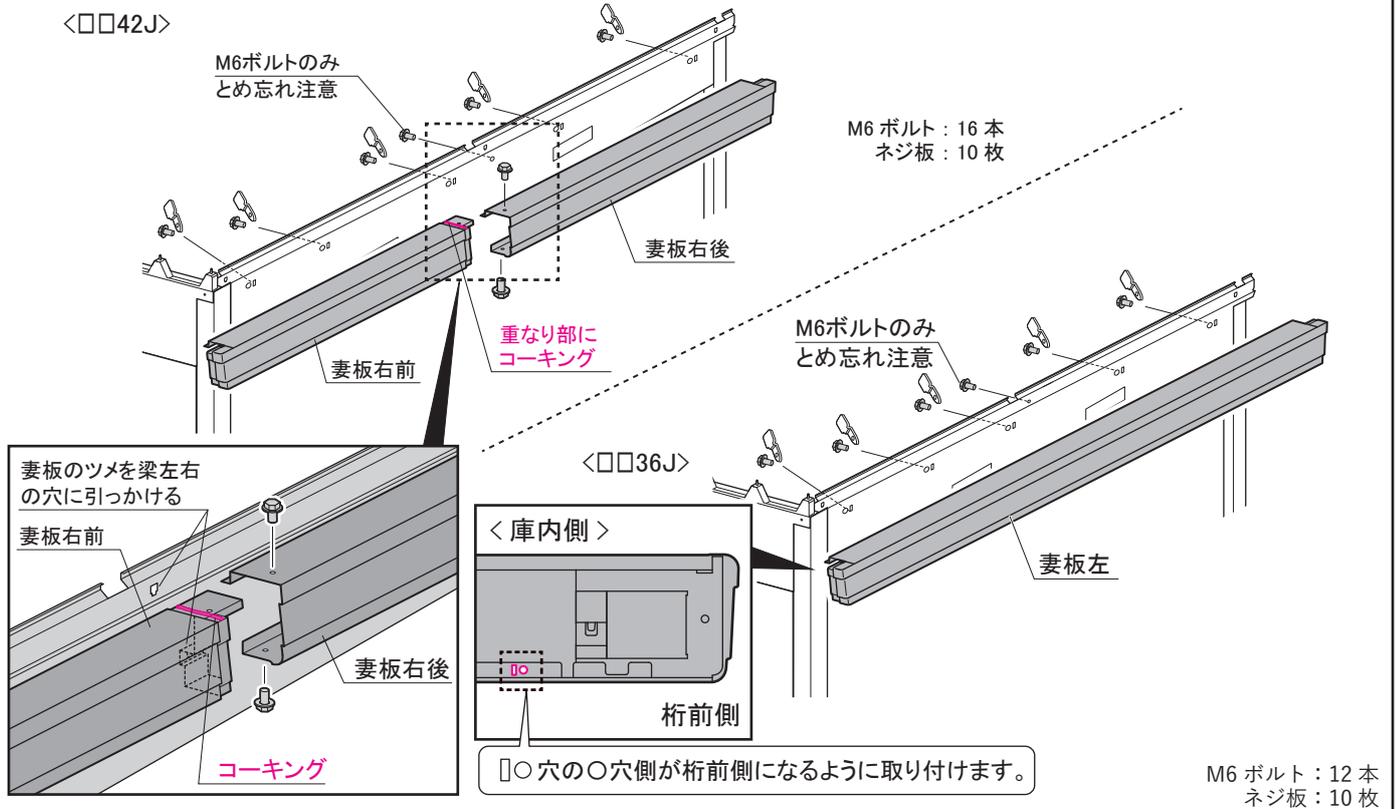
20.妻板の取付

<□□42Jの場合>

- ①妻板前のツメを梁左右の穴に引っ掛け、庫内側からM6ボルトとネジ板で取り付けます。
- ②妻板前にコーキングをしてから妻板後を梁左右に引っ掛け庫内側からM6ボルトとネジ板で取り付けます。
※外側にはみ出したコーキングは拭き取ってください。

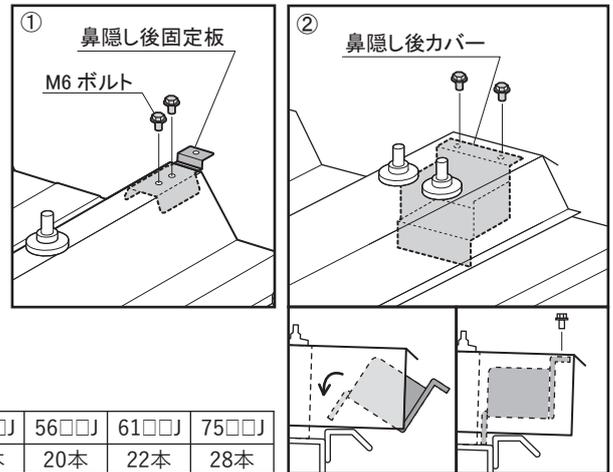
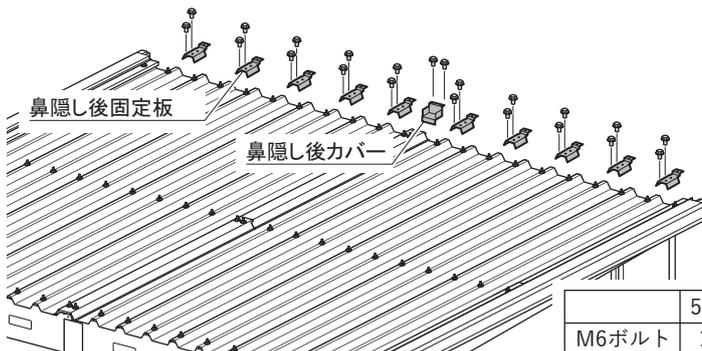
<□□36Jの場合>

- ①妻板のツメを梁左右の穴に引っ掛け庫内側からM6ボルトとネジ板で取り付けます。



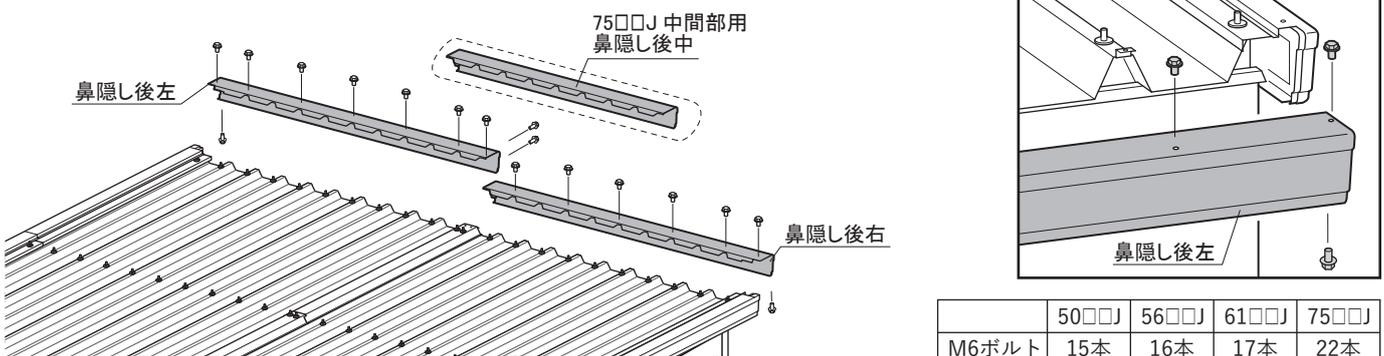
21.鼻隠し後カバー・鼻隠し後固定板の取付

- ①屋根の端から1山おきに鼻隠し後固定板をM6ボルトで取り付けます。
- ②梁中屋根板に鼻隠し後カバーをM6ボルトで取り付けます。



22.鼻隠し後の取付

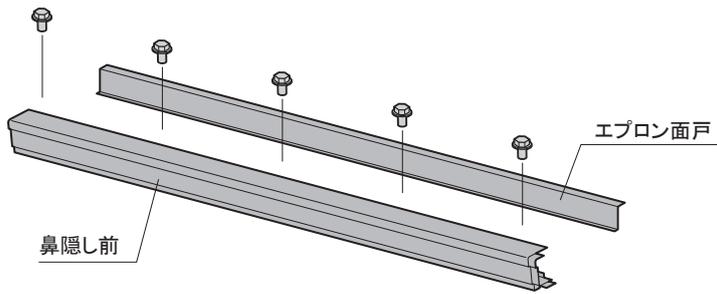
鼻隠し後を後右、(後中、)後左の順にM6ボルトで取り付けます。



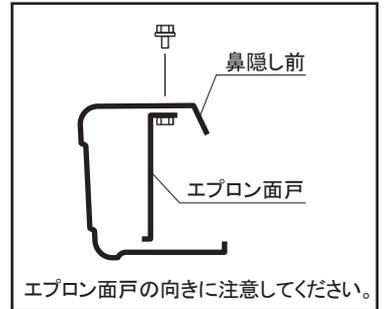
23.エプロン面戸・鼻隠し前取付金具・鼻隠し前の取付

23-1

エプロン面戸を鼻隠し前の中に入れて、M6ボルトで取り付けます。



<横からみた図>

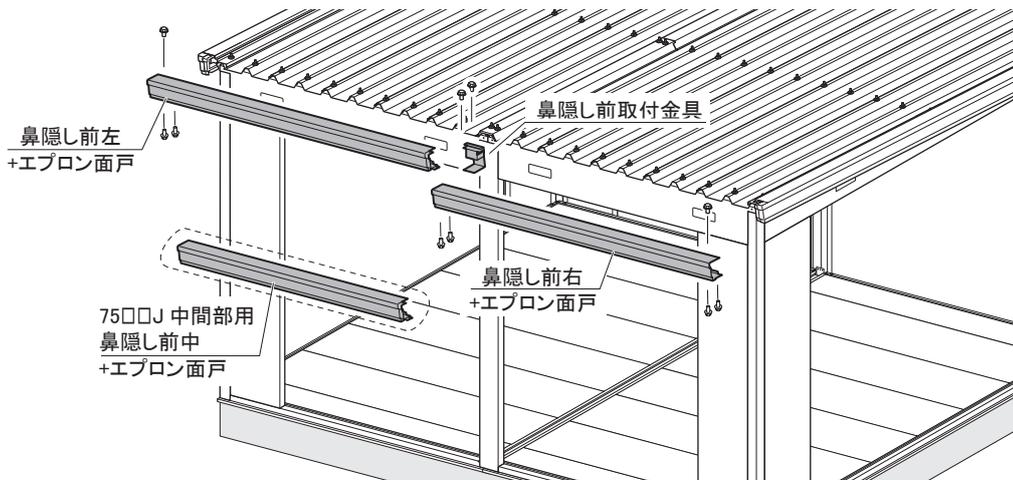


	50□□J	56□□J	61□□J	75□□J
M6ボルト	8本	9本	10本	12本

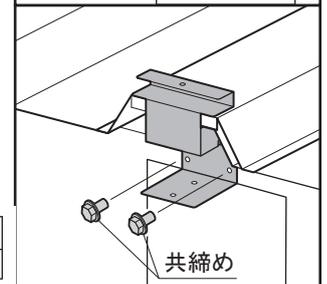
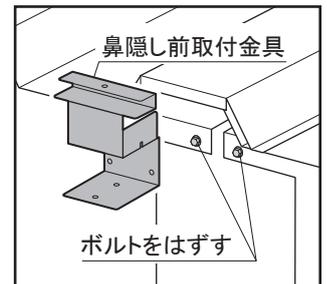
23-2

①柱前中と桁前を取り付けている正面側のM6ボルトをはずし、鼻隠し前取付金具を共締めします。

②エプロン面戸を取り付けた鼻隠し前を前左、(前中、)前右の順にM6ボルトで取り付けます。

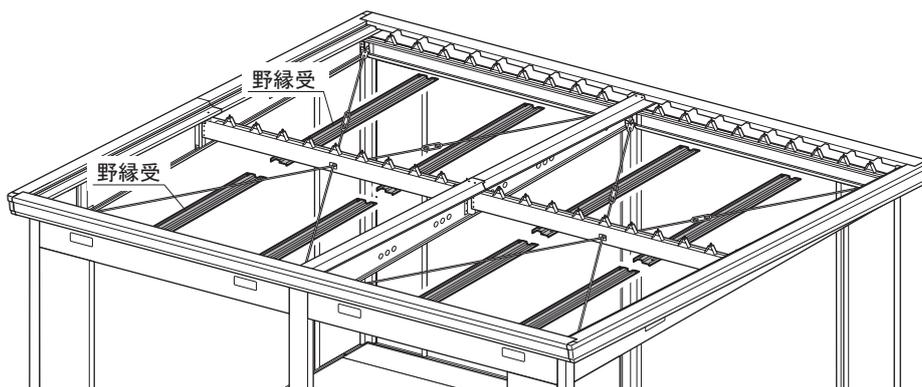


	50□□J	56□□J	61□□J	75□□J
M6ボルト	10本	10本	10本	14本

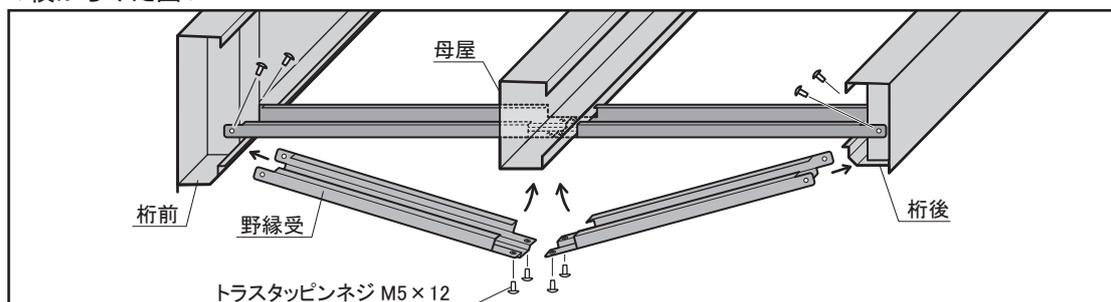


24.野縁受の取付

野縁受を桁前(後)と母屋にトラスタッピンネジM5×12で取り付けます。



<横からみた図>



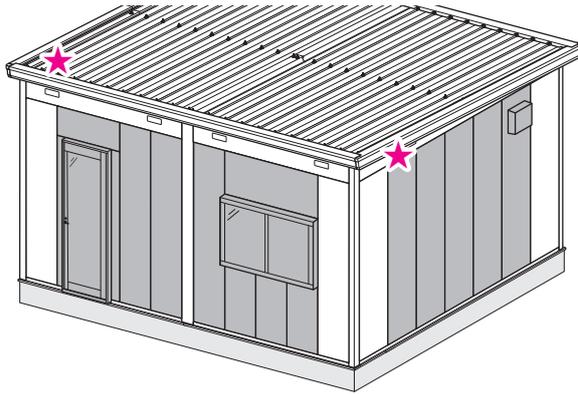
※野縁受は桁前後に仮預けしておくとう作業がしやすいです。部材の落下には十分注意してください。

25.壁パネル・オプションの取付

残りの壁パネルと開口部、ガラス窓、換気扇取付用パネル、給気パネルを取り付けます。(開口部、ガラス窓、換気扇取付用パネル、給気パネルは各組立説明書を参照して組み立ててください。)

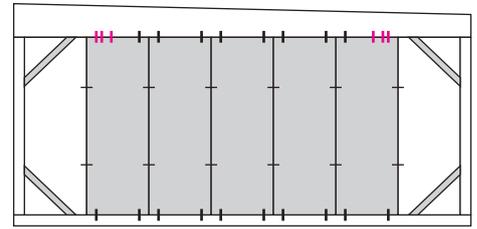
※側面側上部はM6ボルトのみでとめる部分があります。忘れずに取り付けてください。

※壁・オプションを取付後に配線を通すことをお勧めします。別途配線参考図を参照してください。



★ 梁左右下側の M6 ボルトをはずしてから壁パネルを取り付けてください。

< 側面の M6 ボルトとめ位置 >



■ :M6 ボルト + ネジ板

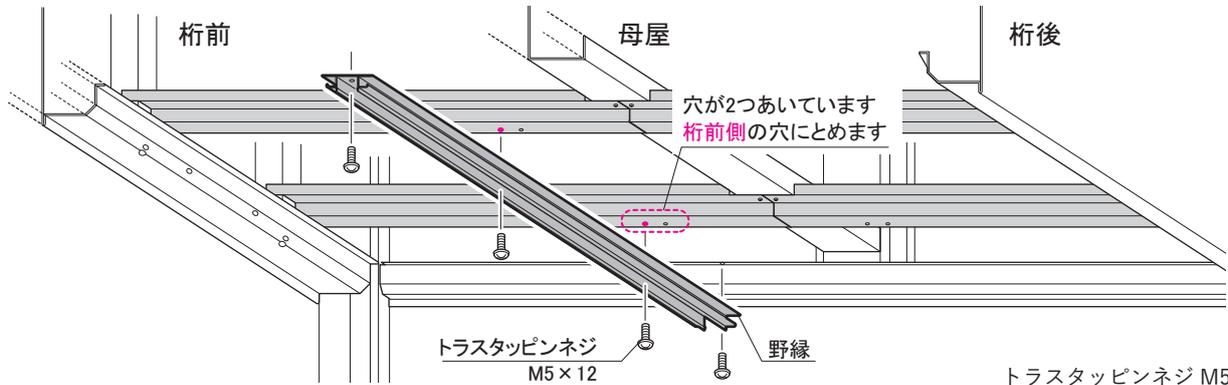
■ :M6 ボルトのみ

26.天井の取付

26-1

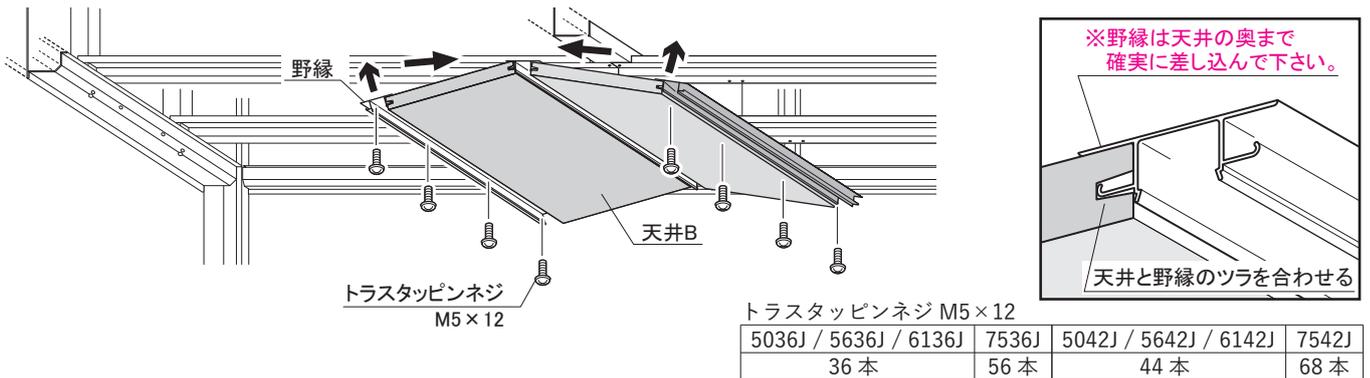
野縁を母屋付近の野縁受と梁左右・梁中にタッピンネジM5×12で取り付けます。

※野縁受には穴が2つ空いています。桁前側の穴に取り付けてください。



26-2

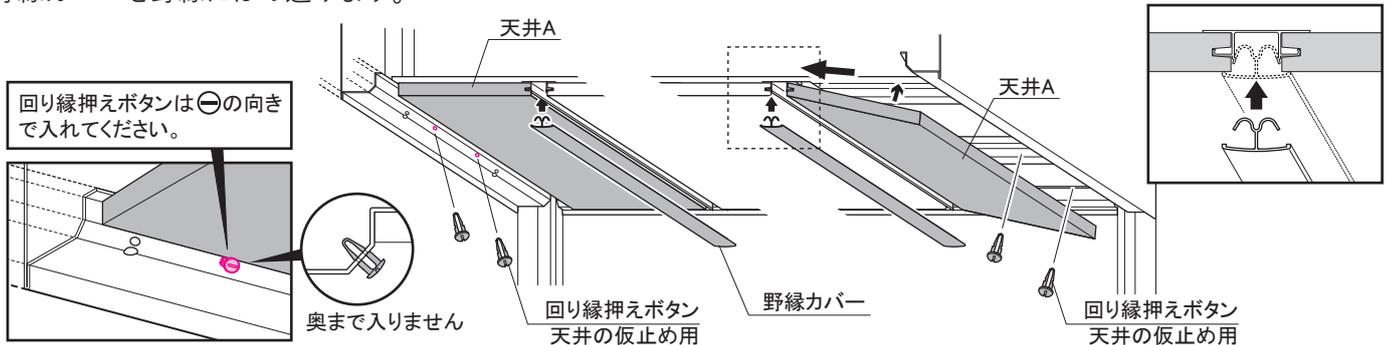
天井Bに野縁を完全に差し込んでから、26-1でセットした野縁にはめ、26-1と同じ要領で野縁を固定します。



26-3

①天井Aをはめ込み、桁前・桁後の中央部2ヶ所に回り縁押えボタンを取り付けます。(天井の仮止め)

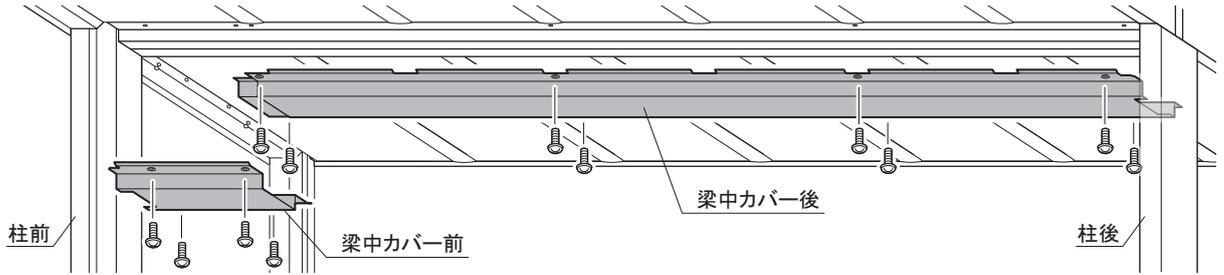
②野縁カバーを野縁にはめ込みます。



26-4

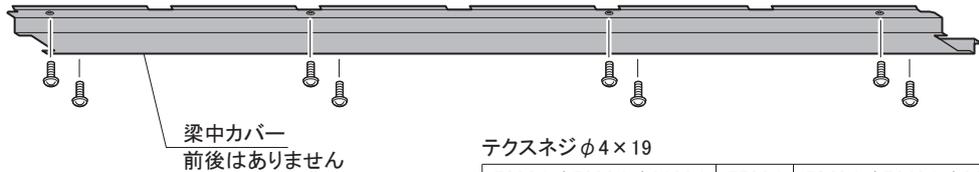
<□□42Jの場合>

天井をすべて取り付け終わったら梁中部に梁中カバー後・前の順にテクスネジφ4×19で取り付けます。



<□□36Jの場合>

天井をすべて取り付け終わったら梁中部に梁中カバーをテクスネジφ4×19で取り付けます。



テクスネジφ4×19

5036J / 5636J / 6136J	7536J	5042J / 5642J / 6142J	7542J
8本	16本	12本	24本

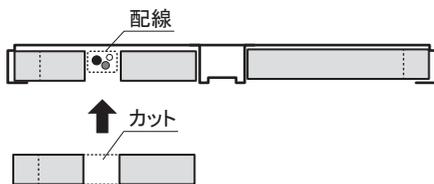
27.壁用断熱材の準備

壁用断熱材は取付位置によってカットが必要となります。

壁用断熱材には厚みが2種類(20mm、40mm)あります。

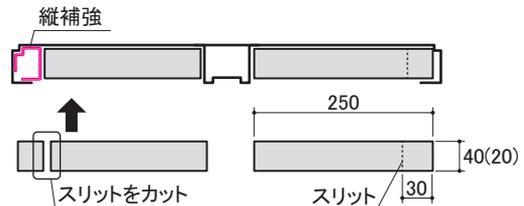
※使用する壁パネルと壁用断熱材の厚みを確認してからカットしてください。

<電気配線と重なる場合>



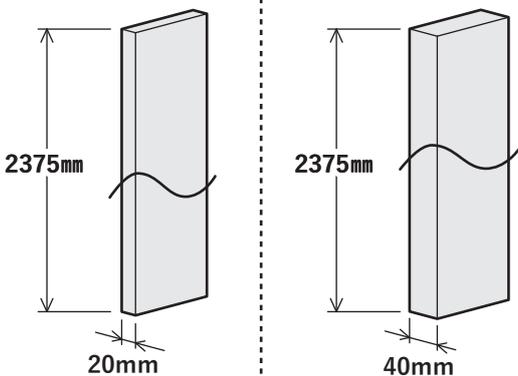
電気配線を避けるようにカットします。

<縦補強が取り付け壁パネル>



縦補強が取り付け部分のスリットをカットします。

<壁用断熱材の種類>



<取付位置>
コーナー金具付
壁パネル

<取付位置>
標準壁
換気扇取付用パネル
給気パネル

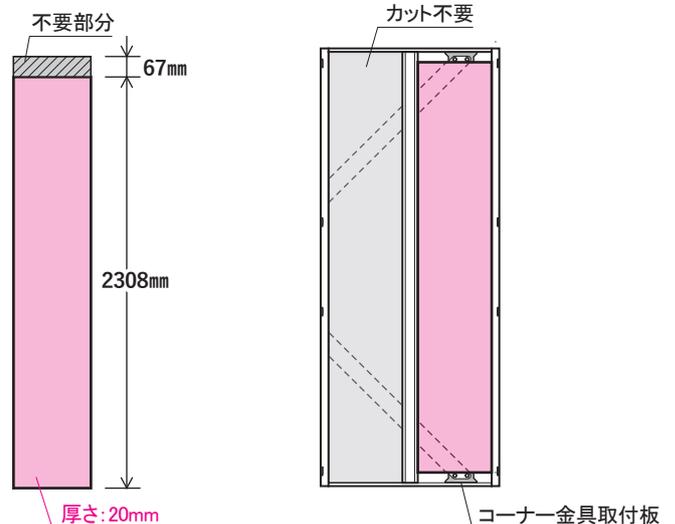
換気扇取付用パネル、給気パネルのカット寸法は各組立説明書を参照してください。

※カット前に取付位置と厚みを確認してください。

<コーナー金具付壁パネル>

厚さ20mm壁用断熱材

コーナー金具取付板と壁用断熱材が干渉するためカットが必要となります。1棟あたり4枚カットが必要です。

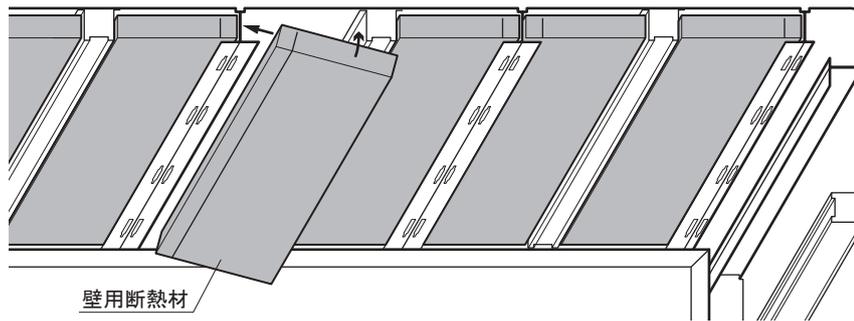


※縦補強が入る場合はスリットでカットする
<縦補強が取り付け壁パネル>参照

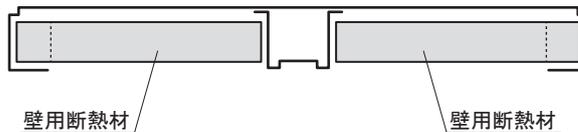
28.壁用断熱材・内壁の取付

28-1

壁用断熱材を壁パネルにはめ込みます。

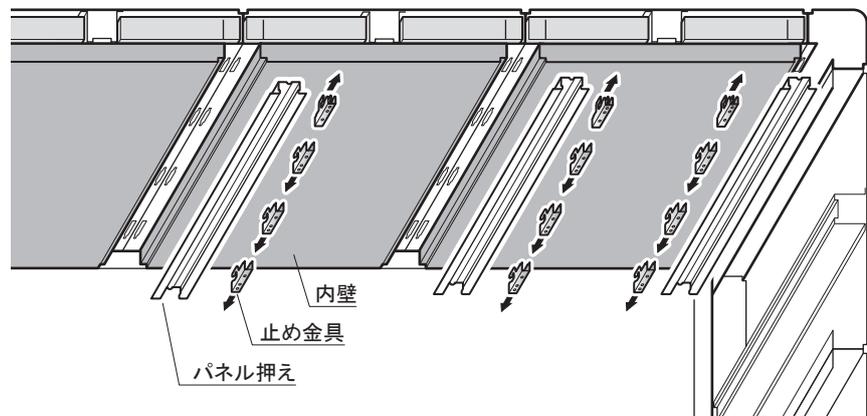
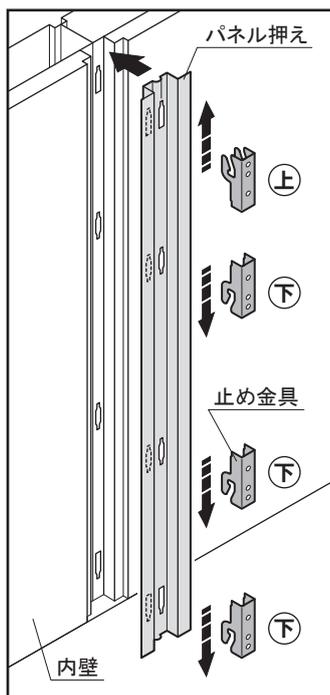


※壁用断熱材は、壁パネル1枚に2枚はめ込みます。



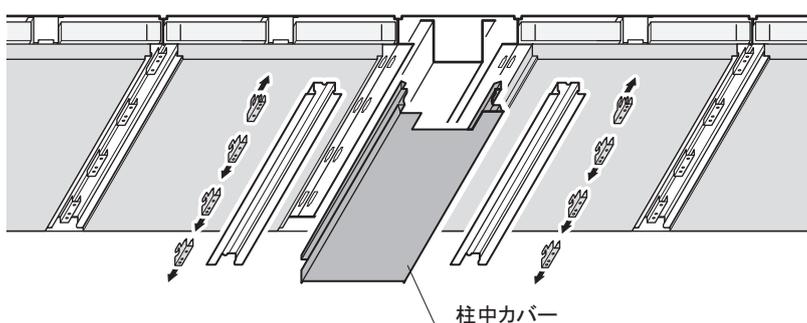
28-2

内壁をパネル押えと止め金具で壁パネルにセットし、全面に取り付けてから止め金具を打ち込みます。

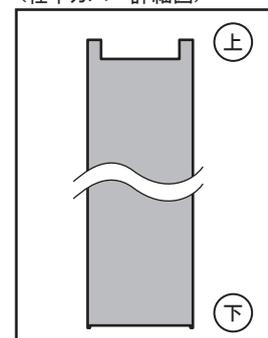


29.柱中カバーの取付

柱中カバーを内壁と同じ要領で取り付けます。

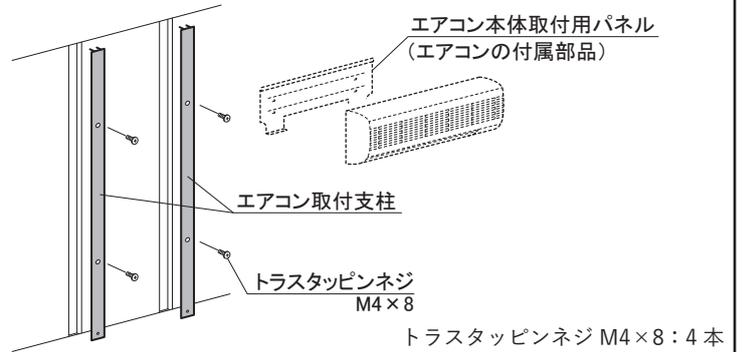
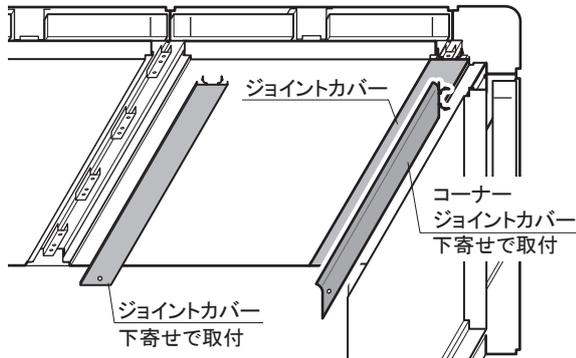


<柱中カバー詳細図>



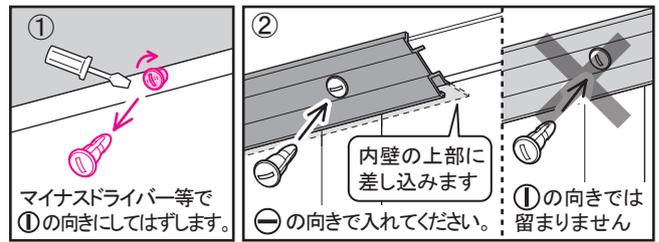
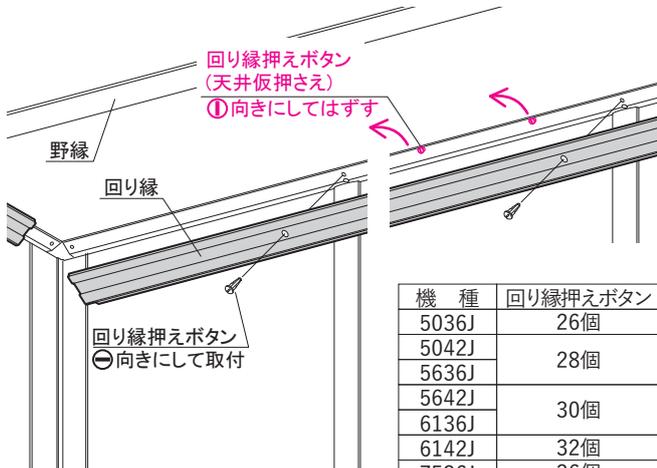
30.ジョイントカバー取付

- ①ジョイントカバーをパネル押えにはめ込みます。コーナー部はジョイントカバー、コーナージョイントカバーの順に取り付けます。
 - ②エアコン等を取り付ける位置にはエアコン取付支柱を取り付けます。(エアコンを取り付けない場合は、任意の位置に取り付けてください。)
- ※端に穴が開いているほうを下にしてください。
 ※柱左右の隣に掃き出し窓が付く場合は、コーナージョイントカバーのカットが必要です。(掃き出し窓組立説明書参照)

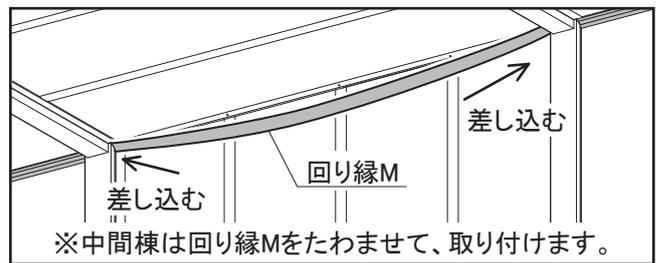


31.回り縁・入隅の取付

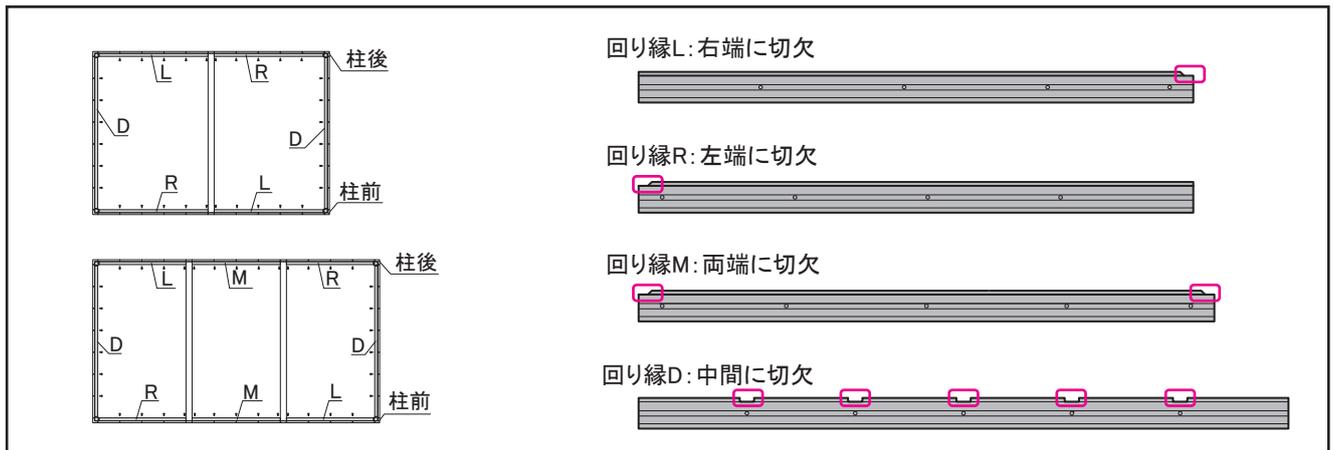
- ①天井を仮止めしている回り縁押えボタンをマイナスドライバー等で向きを回転させ、はずします。
- ②回り縁を内壁の上部に差し込み、回り縁押えボタンで取り付けます。



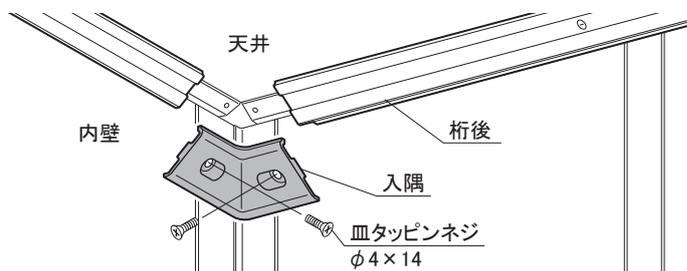
機種	回り縁押えボタン
5036J	26個
5042J	28個
5636J	28個
5642J	30個
6136J	32個
6142J	32個
7536J	36個
7542J	38個



< 回り縁取付関係図 >



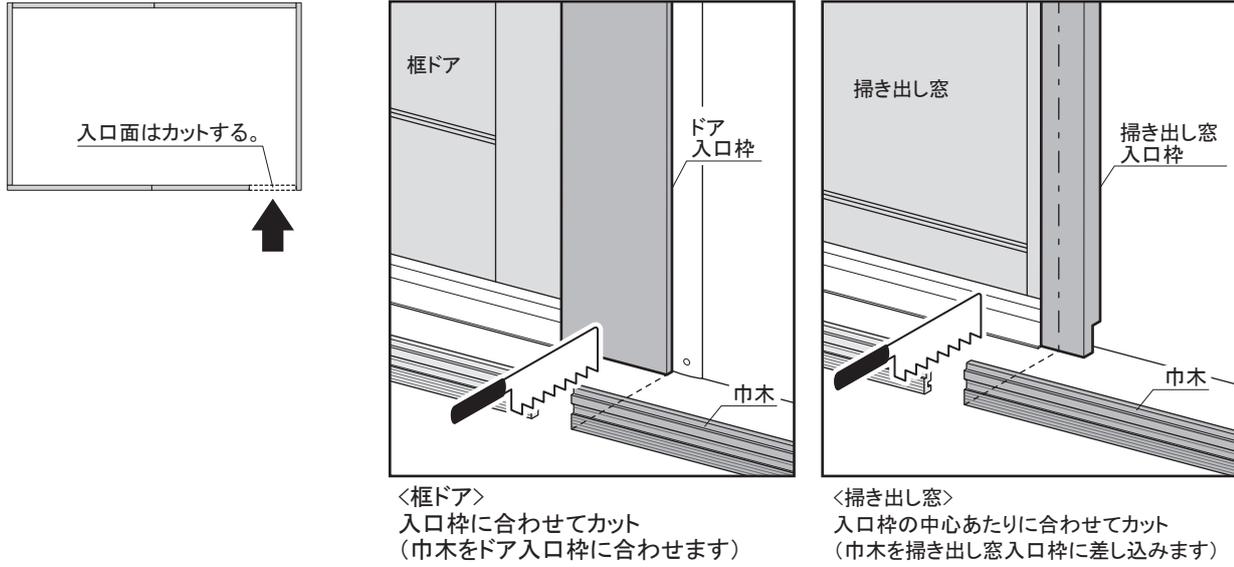
- ③入隅を天井面の四隅に皿タッピンネジで取り付けます。



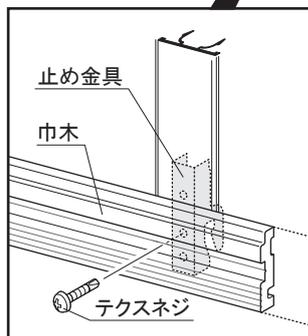
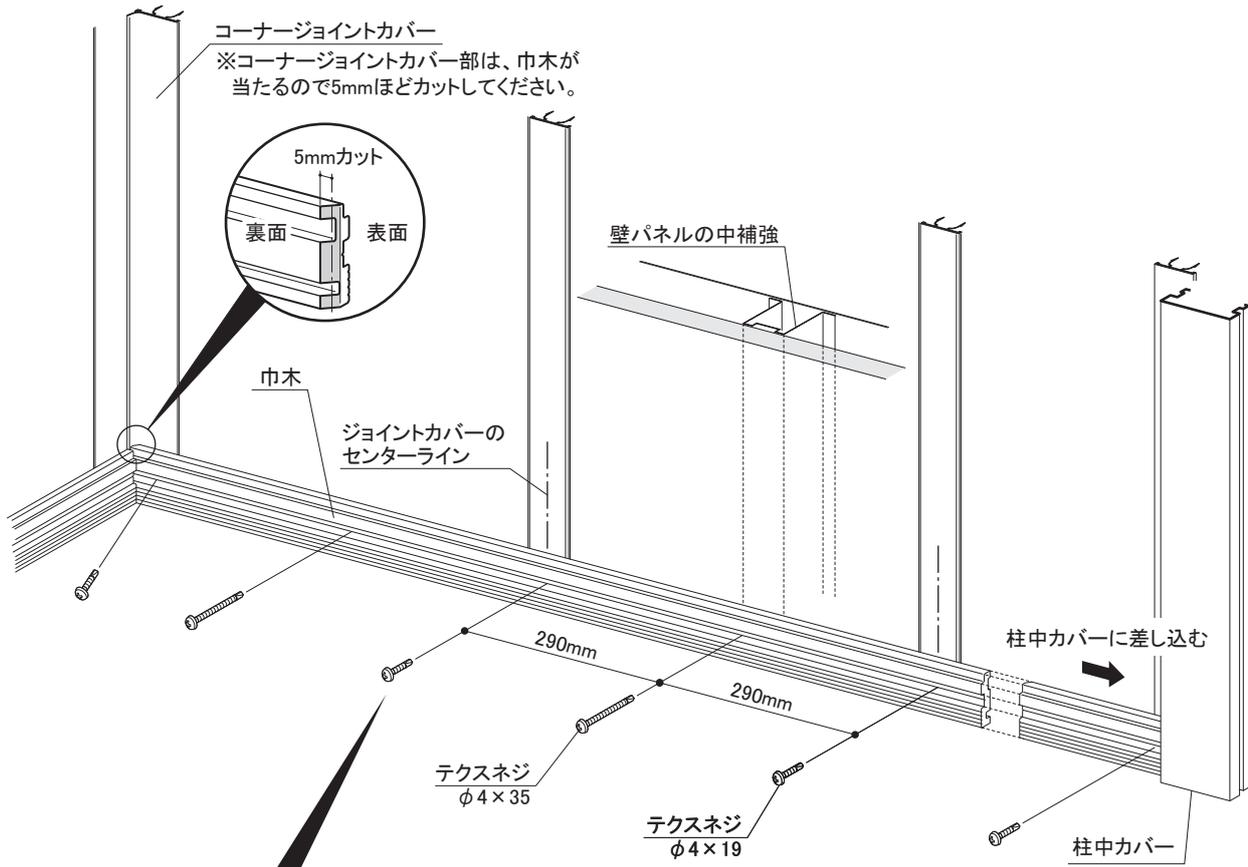
皿タッピンネジ φ4×14 : 8本

32.巾木の取付

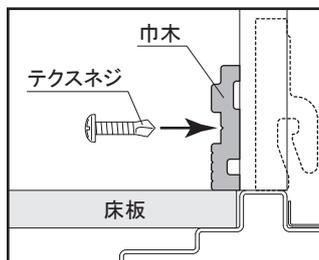
①ドア・掃き出し窓の取付部は巾木の長さ調整が必要になります。



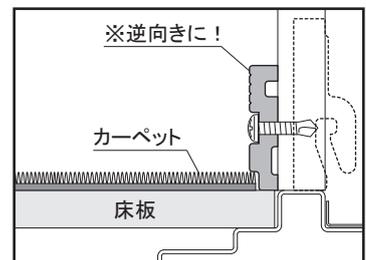
②巾木は、テクスネジφ4×19でジョイントカバーのセンターをねらい止め金具と固定し、テクスネジφ4×35で内壁のセンターをねらい壁パネルの中補強に固定します。



●通常(フローリング)の場合



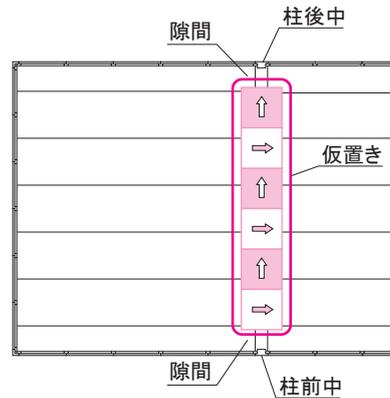
●カーペット(オプション)を使う場合



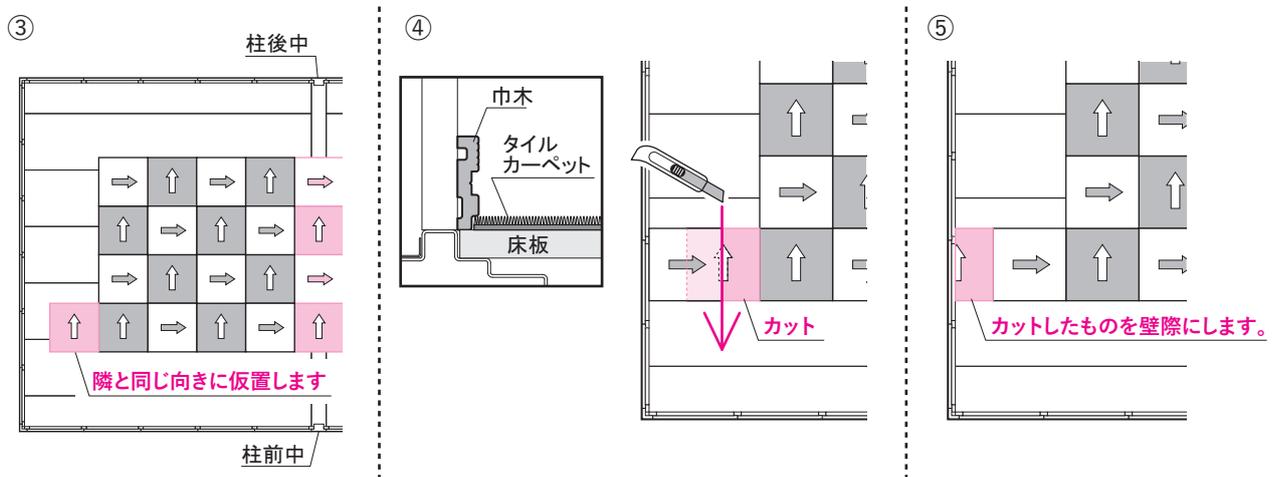
タイルカーペット(オプション)施工手順

※土台中カバーが付いている場合ははずしてください。

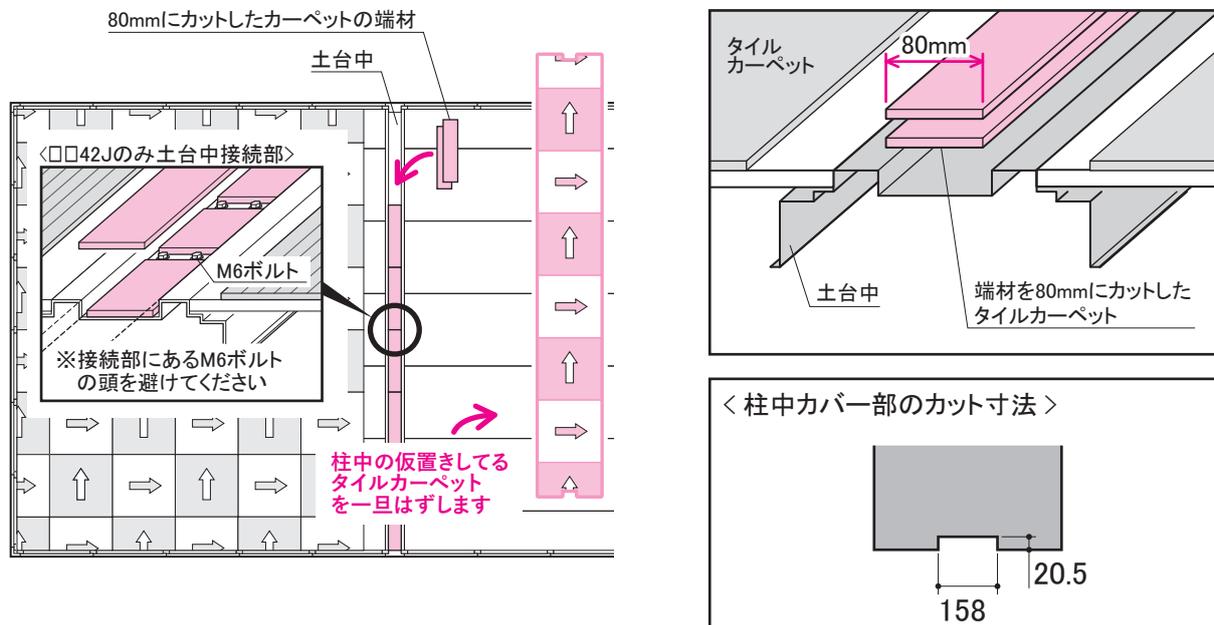
- ①床面を掃除してください。
- ②タイルカーペットを仮置きします。(右図参照)
 - ・タイルカーペットの中心と柱中の中心を合わせます。
 - ・柱側の隙間は均等にします。



- ③両面テープ(薄手)もしくは接着剤を使用し、カーペットを市松貼りしてください。
 ※カットが必要になるカーペットの隣は仮置きしてください。(下図の ↑ ⇒ 位置)
- ④巾木にカーペットをはめ、③で仮置きしたカーペットに重ます。重ねたカーペットを定規代わりにし、仮置きしたカーペットをカットします。
- ⑤カットしたカーペットを壁際になるように貼り付けます。



- ⑥②で仮置きした柱中部のカーペットをはずします。
- ⑦④でカットしたカーペットの端材を80mm程度の幅にカットし、2枚重ねて土台中の溝に入れます。
- ⑧柱中部のカーペットを接着します。(柱中カバー部カットは下図参照)



雨とい施工についての注意点

●接着剤使用上の注意

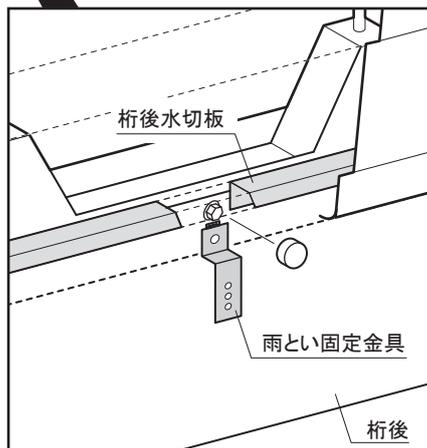
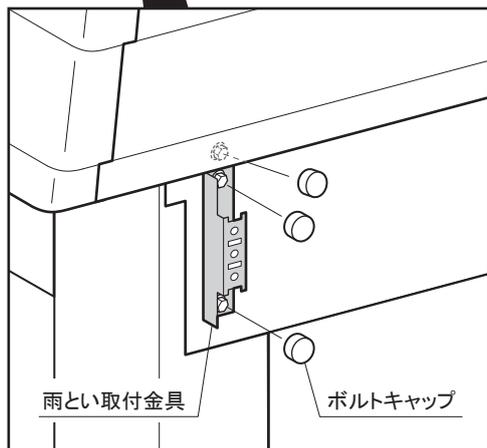
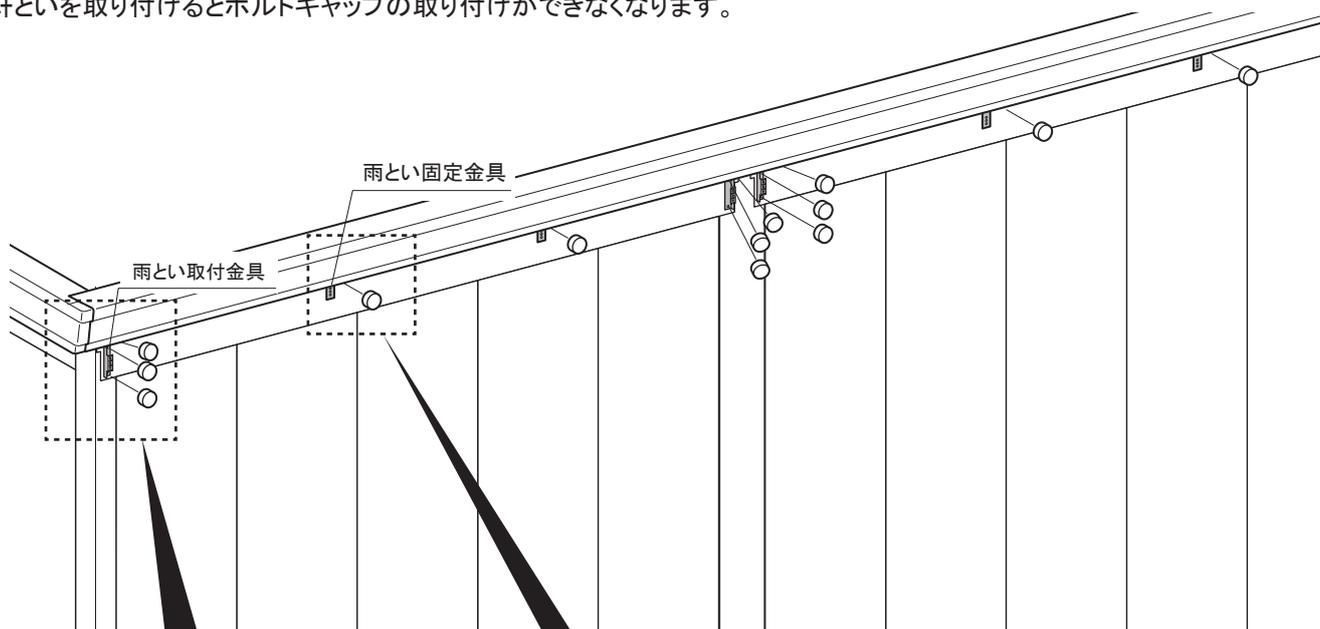
1. 使用前には容器に表示されている「労働安全衛生法の表示」や「取扱い上の注意」をよく読み、注意して施工してください。
2. 可燃性溶剤を含んでおりますので作業時は「火気厳禁」としてください。(危険物第4類第1石油類・危険等級II)
3. 有機溶剤が含まれていますので悪用して吸うと有害です。故意に吸わないでください。
4. 接着する部分の水分や油類・泥・ホコリなどは予め乾いた布などできれいにふき取ってください。
5. 接着剤【速乾性】は、部品の接続部全体に均一に塗り、塗布後出来るだけ早く接着してください。
6. 接着力が最大になるのは塗布後20～30時間後です。接着後2～3時間は不安定なため、荷重をかけないように注意してください。
7. 接着剤の有効期間は製造後1年半です。開封後は1ヶ月以内に使用してください。
8. 作業後は手洗いを十分おこなってください。

●雨とい(塩化ビニル)性質上の注意点

1. 塩化ビニル等を素材とする雨といは、金属に比べて機械的強度が低く、また温度変化による伸縮が大きいという性質があります。こうした性質をご理解いただいて施工してください。
2. 冬期、低温になると雨といは硬くなり、割れやすくなりますので、無理な力を加えての切断は避けてください。

33.ボルトキャップ取付(一部)

桁後(雨とい取付金具、雨とい固定金具、桁後水切板)のボルトにボルトキャップを取り付けます。
※軒といを取り付けるとボルトキャップの取り付けができなくなります。



機種	ボルトキャップ
50□□	14個
56□□	15個
61□□	16個
75□□	21個

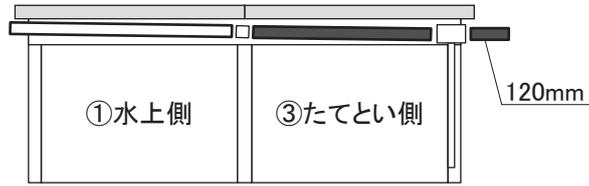
34.軒といの組立

34-1

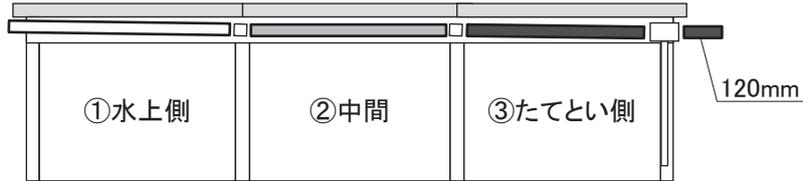
軒といを本体寸法に合わせてカットします。(下表参照)

※軒といのバリはきれいに取り除いてください。

<50□□J/56□□J/61□□J>



<75□□J>



機種	①水上側		②中間	③たてとい側		120mm
50□□J	2580mm		-	2420mm		
56□□J ※1	壁4枚	2580mm	-	壁5枚	3000mm	
	壁5枚	3160mm	-	壁4枚	2420mm	
61□□J	3160mm		-	3000mm		
75□□J	2580mm		2500mm	2420mm		

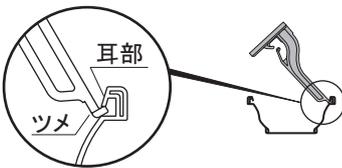
※1 56□□Jは取付位置の壁枚数を確認して軒といをカットしてください。

34-2

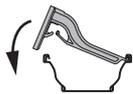
軒といに軒といブラケットをはめ込み、伸縮じょうごが取りつく位置にストッパーを接着します。

軒といブラケット取付方法

①耳部にツメを引っ掛ける



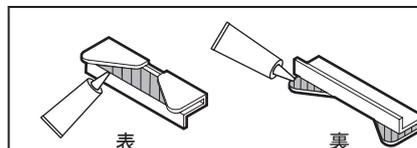
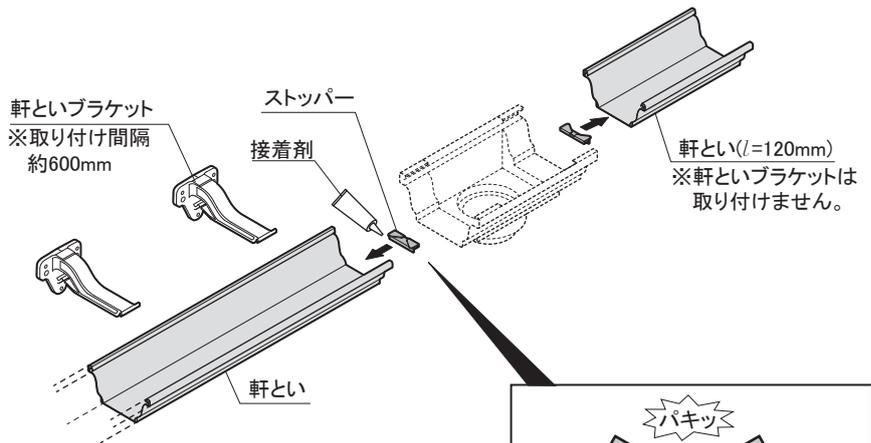
②ツメが外れないように注意しながら押し込む



③カチッと音が鳴るまで、押し込む

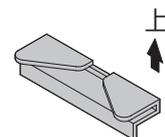


※軒といブラケットのツメが引っ掛かっている事を確認してから、はめ込んでください。



ストッパーの表と裏に接着剤を十分に塗布してください。

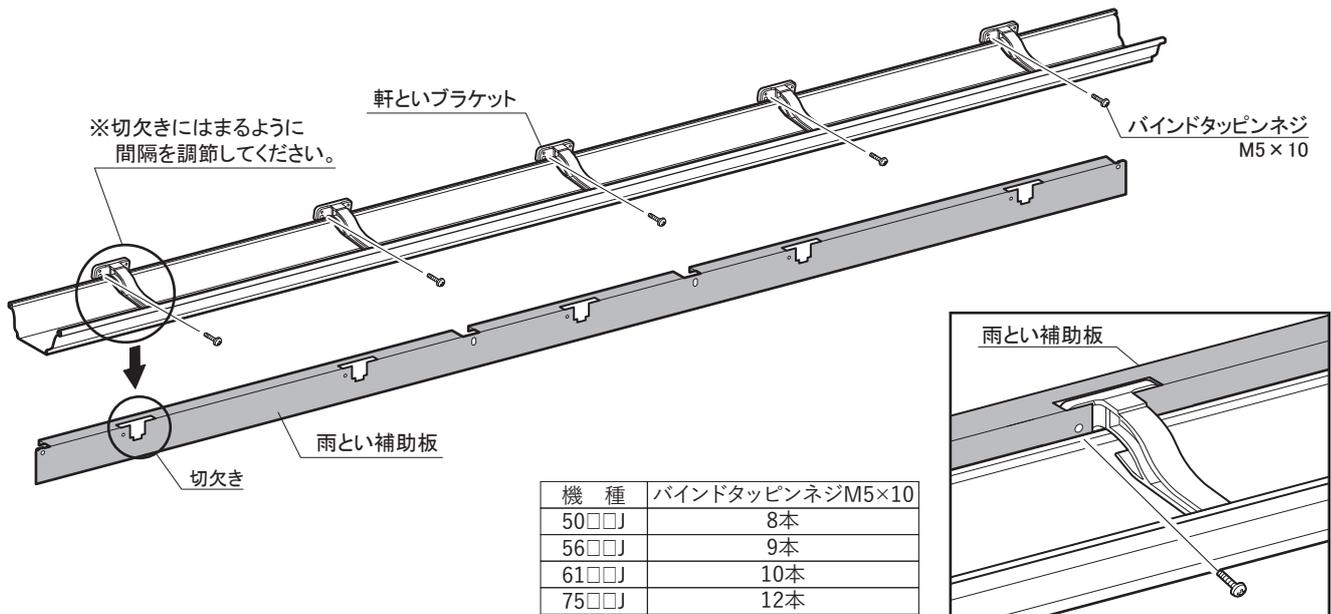
ストッパーは中央部を二つに割ってご使用ください。



上下反対にならないように注意してください。

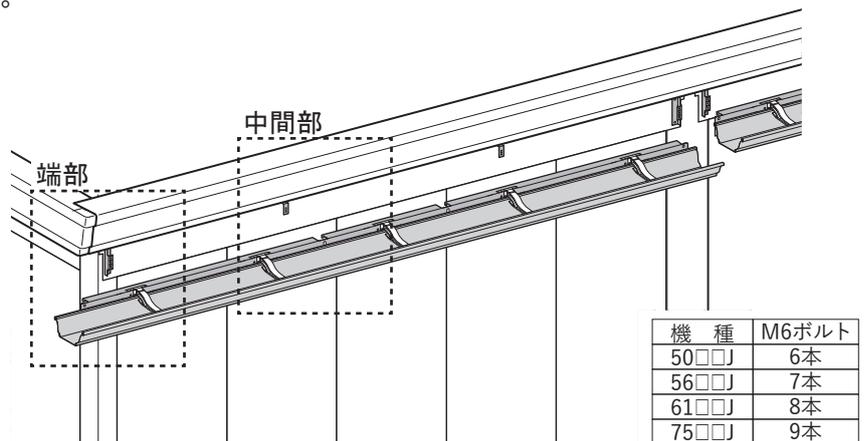
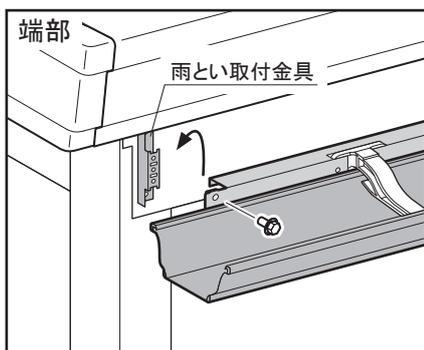
35.雨とい補助板の取付

- ①軒といブラケットを雨とい補助板の切欠きに合わせ、はめこみます。
- ②バインドタッピンネジM5×10で軒といブラケットと雨とい補助板を固定します。



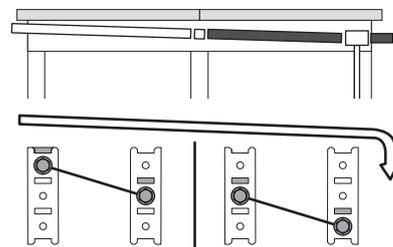
36.軒といの取付

- ①雨とい補助板のツメを雨とい取付金具に引っ掛け、排水方向に勾配がつくようにとめ位置を決めます。とめ位置は下図【雨とい取付金具と雨とい補助板の関係】を参照してください。
- ②雨とい補助板をM6ボルトで固定します。

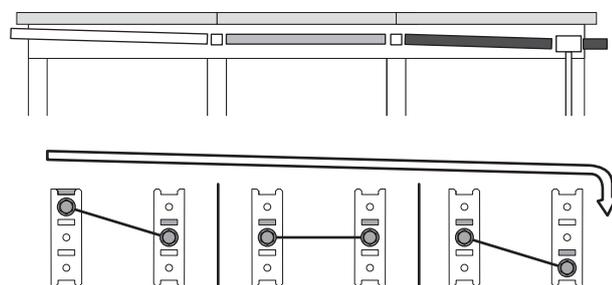


■雨とい取付金具と雨とい補助板の関係

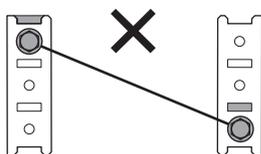
<50□□J/56□□J/61□□J>



<75□□J>



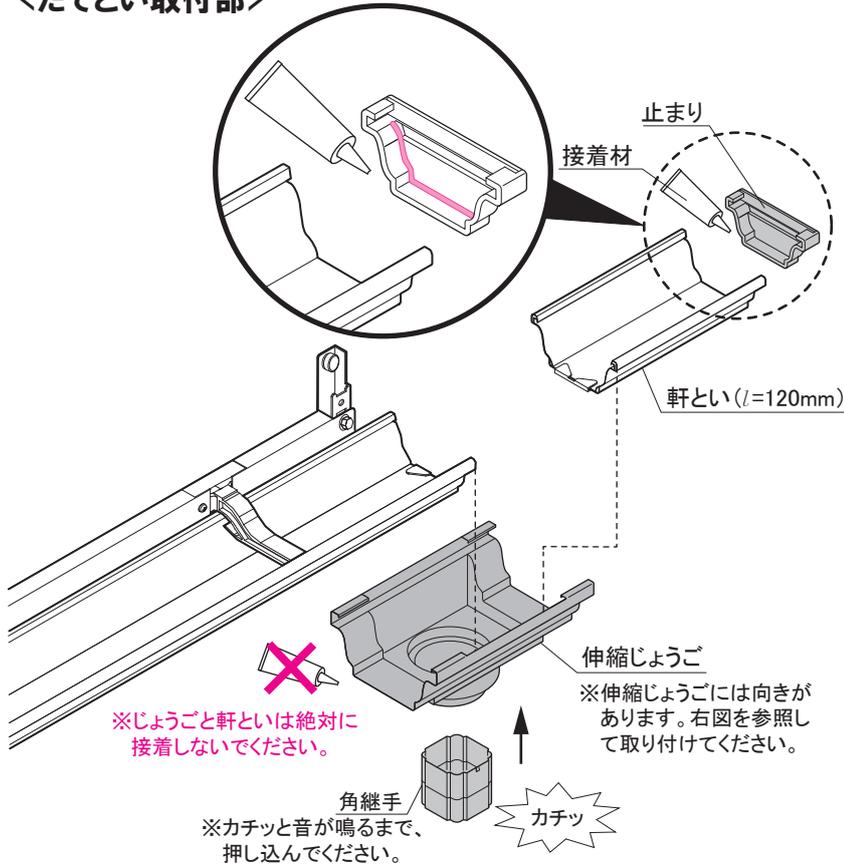
※取り付ける際、2段以上の差を付けないでください。



37.伸縮じょうご、ソケットの取付

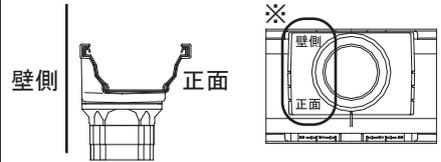
- ①角継手を伸縮じょうごに取り付けます。
 - ②軒といの端部に止まりを接着し、伸縮じょうごを軒といに取り付けます。
- ※水もれしないよう、接着剤は均一に切れ目が無い様、十分に塗布してください。

<たてとい取付部>



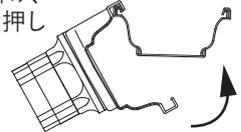
伸縮じょうご取付方法

・伸縮じょうご取付方向



※表記を確認し、取り付けしてください。

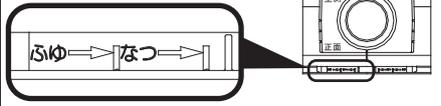
- ①伸縮じょうごを軒といの後耳部に引っ掛け、手前に回しながら押し込む



- ②両端部がしっかりはまり込むまで、押し込む



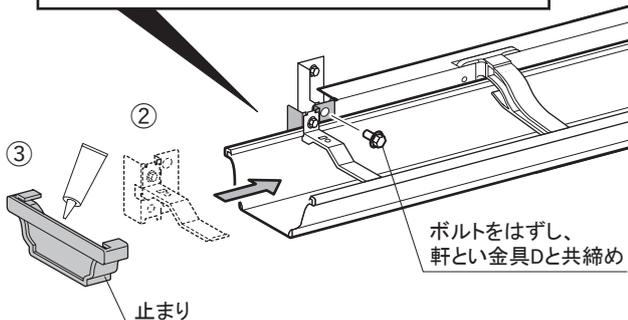
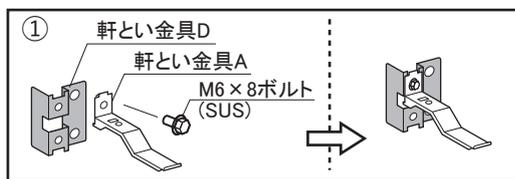
- ③施工時期に合わせて、軒とい端部の位置を合わせる



<水上部・連結部>

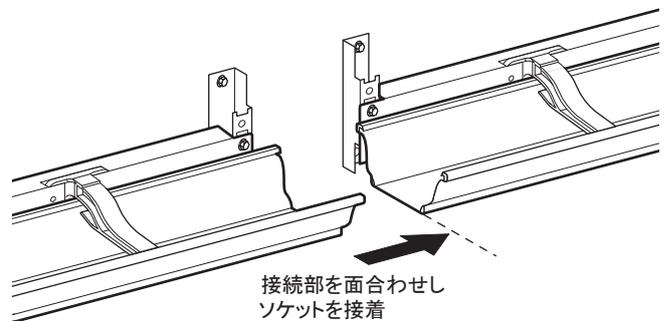
■水上部

- ①軒とい金具Dに軒とい金具AをM6×8ボルト(SUS)で取り付けます。
- ②①を軒といに横からスライドしてはめて、軒とい補助板を固定しているM6ボルトをはずし、①と共締めします。
- ③軒とい端部に止まりを接着します。

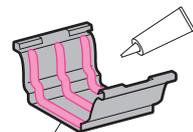


■連結部

軒といの接続部を面合わせし、ソケットを接着します。



接続部を面合わせし
ソケットを接着

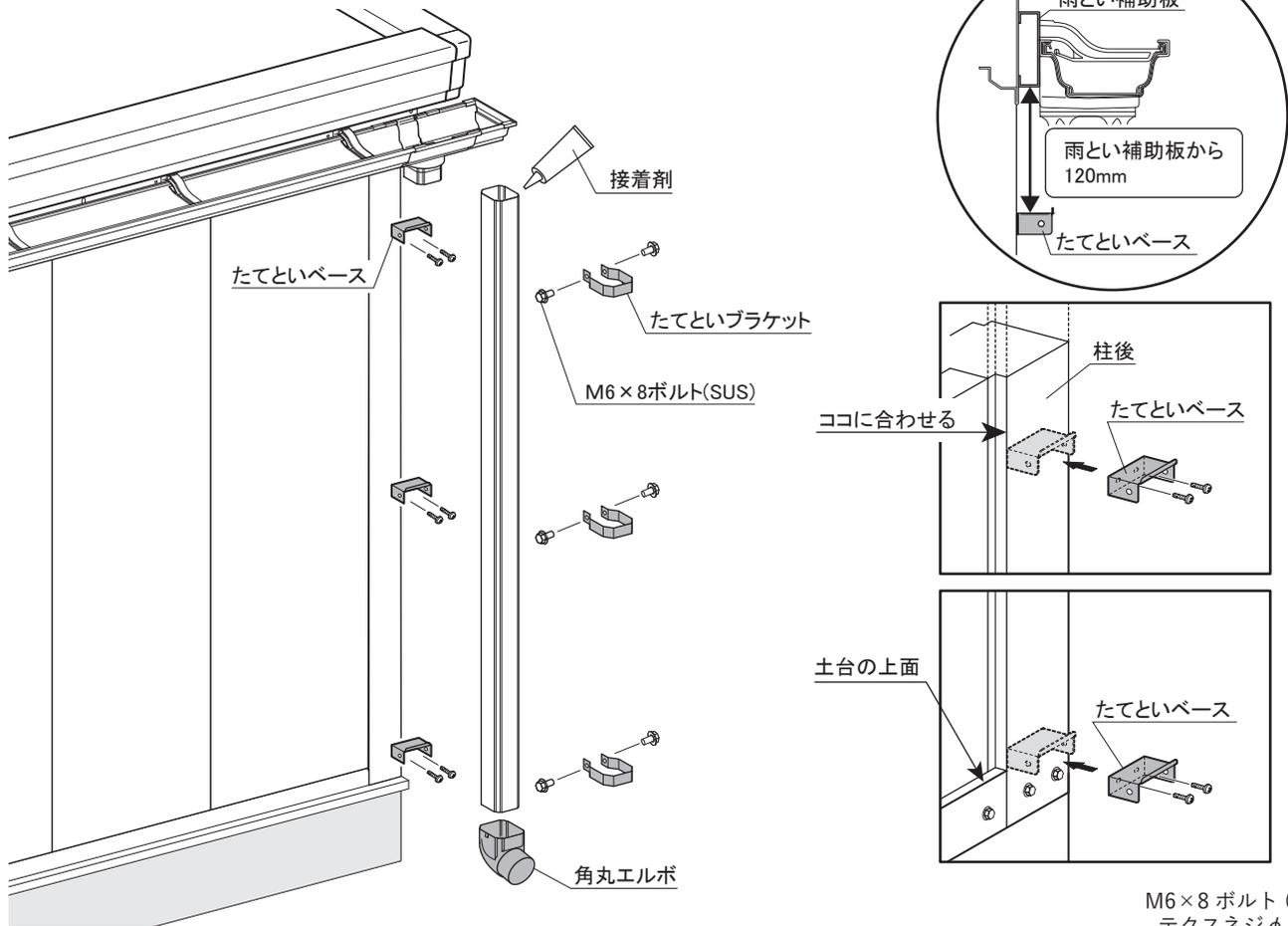


ソケット
※ソケットに向きはありません。
伸縮じょうごと同じ方法で取り付けてください。

M6×8ボルト(SUS) : 1本

38. たてといベース・たてといの取付

- ① たてといベースを柱の段差に合わせて、テクスネジで取り付けます。
※上部は雨とい補助板から120mmくらいの位置、下部は土台の上面、中間部は上下のほぼ中央に取り付けてください。
- ② たてといの長さを設定し必要であれば適寸にカットします。たてとい上部を伸縮じょうごに接着し、たてといブラケットをはめ、ボルトでたてといベースに取り付けます。
- ③ たてとい下部に角丸エルボを接着します。



M6×8ボルト(SUS) : 6本
テクスネジφ4×13 : 6本

39. ボルトキャップの取付【完成】

屋外側に出ているボルトにボルトキャップを取り付けて完成です。

